

東北厚生局長 殿

学校法人 岩手医科大学

理事長 小川 彰

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	97 人
--------	------

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	345 人	79 人	375.0 人	看護業務補助	65 人	診療エックス線技師	
歯科医師	132 人	4 人	133.5 人	理学療法士	8 人	臨床検査技師	77 人
薬剤師	55 人		55.0 人	作業療法士	3 人	衛生検査技師	1 人
保健師	1 人		1.0 人	視能訓練士	6 人	その他	
助産師	36 人		36.0 人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	4 人
看護師	1146 人		1146.0 人	臨床工学技士	23 人	医療社会事業従事者	8 人
准看護師	4 人		4.0 人	栄養士	9 人	その他の技術員	48 人
歯科衛生士	35 人		35.0 人	歯科技工士	9 人	事務職員	144 人
管理栄養士	15 人		15.0 人	診療放射線技	55 人	その他の職員	19 人

- (注)1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	859.0 人	23.5 人	882.5 人
1日当たり平均外来患者数	1577.0 人	409.4 人	1986.4 人
1日当たり平均調剤件数	外来 469.6 剤	入院 785.1 剤	

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤件数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・顎顔面補綴	0 人
・抗悪性腫瘍剤感受性検査(HIDRA法又はCD-DST法)	0 人
・超音波骨折治療法	0 人
・抗悪性腫瘍剤感受性検査(SDI法)	11 人
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	15 人
・腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	4 人
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	11 人
・先天性難聴の遺伝子診断	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人

(注) 1「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

2「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・頸部内視鏡手術	2人
・ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	0人
・パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法	0人
・パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法並びにベバシズマブ静脈内投与による維持療法	1人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人

(注) 1「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。  
2「取り扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

3 その他の高度医療

医療技術名	取扱患者数	人
無し		
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入するこ

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	75人	・膿疱性乾癬	17人
・多発性硬化症	86人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	92人	・原発性胆汁性肝硬変	56人
・全身性エリテマトーデス	212人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	26人
・再生不良性貧血	44人	・混合性結合組織病	35人
・サルコイドーシス	134人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	36人	・特発性間質性肺炎	12人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	118人	・網膜色素変性症	44人
・特発性血小板減少性紫斑病	61人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	25人	・原発性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	167人	・神経線維腫症	35人
・大動脈炎症候群	36人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	4人	・バッド・キアリ ( Budd-Chiari ) 症候群	1人
・天疱瘡	22人	・特発性慢性肺血栓栓症 (肺高血圧型)	2人
・脊髄小脳変性症	52人	・ライソゾーム病 (ファブリー[Fabry]病) 含む	3人
・クローン病	123人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・家族性高コレステロール血症 (Ht接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・脊髄性筋萎縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患	239人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7人
・後縦靭帯骨化症	41人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病 (ウイルス動脈輪閉塞症)	51人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	2人	・リンパ脈管筋腫症 (LAM)	0人
・特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	59人	・重症多形滲出性紅斑 (急性期)	0人
・多系統委縮症	26人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害	28人

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方式に先進医療から採り入れられた医療技術

疾患名 取扱い患者数	疾患名 取扱い患者数

(注) 「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方式に先進医療から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 6 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に2回		
剖検の状況	剖検症例数	18 例	剖検率 4.4 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績  
(報告対象期間 H23.4月～H24.3月)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳内留置型微細内視鏡の開発と前臨床試験研究	祖父江 憲治	岩手医科大学 副学長	22,000,000	補 医療機器開発推進研究事業
健診データを基盤として、慢性腎臓病該当者の医療費過剰支出と末期腎不全発症リスクを評価するデータベース構築研究	藤岡 知昭	泌尿器科学講座	2,443,000	補 腎疾患対策研究事業
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理分野	3,378,000	補 がん臨床研究事業
健康長寿につながる小児期からの定期的歯科チェックアップシステムの構築	田中 光郎	口腔保健育成学講座 小児歯科学講座	1,400,000	補 地域医療基盤開発推進研究事業
放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究	小川 彰	岩手医科大学	150,000	補 がん臨床研究事業
東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査	小川 彰	岩手医科大学	124,000,000	補 厚生労働科学特別研究事業
脳内留置型微細内視鏡の開発と前臨床試験研究	人見 次郎	解剖学講座 人体発生学分野	14,000,000	補 医療機器開発推進研究事業
脳内留置型微細内視鏡の開発と前臨床試験研究	小笠原 邦昭	脳神経外科講座	4,000,000	補 医療機器開発推進研究事業
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	佐藤 洋一	解剖学講座 細胞生物学分野	150,000	補 がん臨床研究事業
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	石田 陽治	内科学講座 血液・腫瘍内科学分野	150,000	補 がん臨床研究事業
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	谷田 達男	呼吸器外科学講座	150,000	補 がん臨床研究事業
HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析及び診療・支援体制の整備に関する総合的研究	吉野 直人	細菌学講座	7,000,000	補 エイズ対策研究事業
肥厚性硬膜炎の診断基準作成とそれに基づいた臨床疫学調査の実施ならびに診療指針の確立	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	350,000	補 難治性疾患克服研究事業
臨床疫学調査結果・新規免疫検査結果に基づくアトピー性脊椎炎の新規診断基準作成とその国内外での臨床応用	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	350,000	補 難治性疾患克服研究事業
大規模コホート共同研究の発展による危険因子管理の優先順位の把握と個人リスク評価に関するエビデンスの構築	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	950,000	補 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATE2010)とNIPPON DATE80/90の追跡継続に関する研究	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	500,000	補 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
バーチャルスライドシステムを用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理分野	1,000,000	補 がん臨床研究事業
ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	石田 陽治	内科学講座 血液・腫瘍内科学分野	800,000	補 がん臨床研究事業
東北地方のがんネットワークによるがん診療連携拠点病院の化学療法均てん化事業	伊藤 薫樹	内科学講座 血液・腫瘍内科学分野	700,000	補 がん臨床研究事業
ヘパリン起因性血小板減少症の診断基準確立のための研究	伊藤 智範	内科学講座 循環器・腎・内分泌内科学分野	400,000	補 難治性疾患克服研究事業
自殺対策のための複合的介入法の実現に関する研究	酒井 明夫	神経精神医学講座	500,000	補 障害者対策総合研究事業
精神障害者への対応への国際比較に関する研究	鈴木 満	神経精神科学講座	450,000	補 障害者対策総合研究事業
J-ADNIコアスタディ:画像・バイオマーカーの解析・活用と臨床研究体制の確立	高橋 智	内科学講座 神経内科・老年科分野	1,400,000	補 認知症対策総合研究事業
漢方方剤「抑肝散」によるアルツハイマー病BPSD軽減効果の検証—プラセボ対照無作為化臨床第2相比較試験—	高橋 智	内科学講座 神経内科・老年科分野	600,000	補 認知症対策総合研究事業
卵巣明細胞癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性及び安全性に関する研究	杉山 徹	産婦人科学講座	1,000,000	補 治験推進研究事業

高度の医療技術の開発及び評価の実績  
(報告対象期間 H23.4月～H24.3月)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
創薬化を目指したglypican-3由来がんペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験	若林 剛	外科学講座	500,000	補 医療技術実用化総合研究事業
非治療因子を有する進行胃癌に対する胃原発巣切除の意義に関する国際共同研究	肥田 圭介	外科学講座	700,000	補 がん臨床研究事業
包括的脳卒中センターの整備に向けた脳卒中中の緊急医療に関する研究	小笠原 邦昭	脳神経外科講座	700,000	補 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
一過性脳虚血発作(TIA)の診断基準の再検討、ならびにわが国の医療環境に則した適切な診断・治療システムの確立に関する研究	小笠原 邦昭	脳神経外科講座	500,000	補 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断基準作成	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	700,000	補 障害者対策総合研究事業
GJB2変異による劣性遺伝難聴の全国的実態把握	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	200,000	補 難治性疾患克服研究事業
Usher症候群に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	500,000	補 難治性疾患克服研究事業
優性遺伝形式をとる遺伝性難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	500,000	補 難治性疾患克服研究事業
急性高度難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	800,000	補 難治性疾患克服研究事業
先天白内障の原因究明と診断基準の創生	黒坂 大次郎	眼科学講座	1,000,000	補 難治性疾患克服研究事業
小眼球による視覚障害の原因を特定するための疫学調査と診断・治療基準の創成	黒坂 大次郎	眼科学講座	1,000,000	補 難治性疾患克服研究事業
オカルト黄斑ジストロフィーの効果的診断法の確立および病態の解明	町田 繁樹	眼科学講座	1,000,000	補 難治性疾患克服研究事業
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	佐々木 真理	先端医療研究センター 超高磁場MRI診断・病態研究部門	1,100,000	補 難治性疾患克服研究事業
特発性正常圧水頭症の病因・病態と診断・治療に関する研究	佐々木 真理	先端医療研究センター 超高磁場MRI診断・病態研究部門	800,000	補 難治性疾患克服研究事業
肥満・高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	櫻井 滋	睡眠医療学科	300,000	補 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
東日本大震災被災地域における感染症発生病動向の実態把握及び感染症危機管理対応の検証に関する研究	櫻井 滋	睡眠医療学科	900,000	補 厚生労働科学特別研究事業
比較・分析による歯科関連職種における国家試験の在り方の研究	石橋 寛二	歯科補綴学講座 冠橋歯槽補綴学分野	320,000	補 地域医療基盤開発推進研究事業
創薬支援のためのヒト肝薬物輸送と代謝を評価する安定かつ再現性に優れた細胞レベルでの試験系の提示と毒性評価への応用研究	小澤 正吾	薬物代謝動態学講座	1,499,265	補 政策創薬総合研究事業
特定保健指導の階層化基準外の者の保健指導の有効性に関する研究	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	-	補 政策科学総合研究事業
東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	-	補 厚生労働科学特別研究事業
大規模災害や犯罪被害等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究	鈴木 満	神経精神科学講座	-	補 障害者対策総合研究事業
進行卵巣:腹膜炎に対する腹腔内化学療法確立のための研究	杉山 徹	産婦人科学講座	-	補 がん臨床研究事業
進行卵巣がんに対する分子標的薬の国際共同・医師主導治験	杉山 徹	産婦人科学講座	-	補 がん臨床研究事業
脊柱変形に合併した胸郭不全症候群の全国実態調査により把握された患者の継続調査と二次性の原因により発症する胸郭不全症候群の全国調査	山崎 健	整形外科学講座	-	補 難治性疾患克服研究事業
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究	別府 高明	脳神経外科学講座	-	補 がん臨床研究事業



高度の医療技術の開発及び評価の実績  
(報告対象期間 H23.4月～H24.3月)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
前がん状態におけるDNAメチル化異常の意義に関する研究	菅井 有	病理学講座分子診断病理学分野	1,200,000	補 厚生労働省がん研究開発費 (近藤班) 委
低侵襲医療実現のための患部ターゲティング医療開発研究プロジェクト	菅井 有	病理学講座分子診断病理学分野	1,670,000	補 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(未来医療) 委
画像診断に対する多施設共同臨床試験の体制確立に関する研究	江原 茂	放射線医学講座	1,000,000	補 がん研究開発費 23-A-25(楠木班) 委
高度医療技術の効率化及び標準化の開発に関する研究	曾根 美雪	放射線医学講座	1,000,000	補 厚生労働省 医療機器開発推進研究事業(嘉山班) 委
国際共同臨床試験におけるデータ管理に関する研究	曾根 美雪	放射線医学講座	1,000,000	補 がん研究開発費 (荒井班) 委
肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究	阿部弘一	内科学講座 消化器・肝臓内科分野	1,500,000	補 厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業 (田中班) 委
経口感染する肝炎ウイルス(A型、E型)の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究	鈴木一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科分野	1,000,000	補 厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業 (岡本班) 委
B型肝炎ジェノタイプA型感染の慢性化など本邦における実態とその予防に関する研究	滝川康裕	内科学講座 消化器・肝臓内科分野	1,000,000	補 厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業 (清上班) 委
震災後の心臓病と血管病の実態調査	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	3,420,000	補 独立行政法人科学技術振興機構 研究シーズ探索プログラム 委
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	千田 勝一	小児科学講座	7,500,000	補 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 委
モバイル型感染症サーベイランスシステムの構築	千田 勝一	小児科学講座	4,425,000	補 地球規模保健課題推進研究事業 委
HIV感染妊婦から出生した児の実態調査と健康発達支援に関する研究	外川 正生	小児科学講座	120,000	補 厚生労働科学研究費補助金エイズ研究対策事業(和田班) 委
早産児と正期産児の臍帯血中制御性T細胞(Foxp3+CD4+CD25+)の測定	遠藤 幹也	小児科学講座	500,000	補 森永奉社会研究奨励金 委
低出生体重児の使用可能なpush-pull方式血液浄化装置の開発	石川 健	小児科学講座	1,500,000	補 母子健康保険協会 委
肺線維症の組織修復のマウスモデルを用いた機序の解明	山下 雅大	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	1,000,000	補 圭陵会学術振興会共同研究助成金 委
わが国における低強度認知行動療法の実施マニュアルの開発と地域への応用可能性に関する研究	大塚 耕太郎	神経・精神学講座	1,000,000	補 国立精神・神経医療研究センター 委

合計 件数 66件  
金額 229,675,265

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Eur Gastroenterol Hepatol. 7:264-267(2011)	Non-invasive markers of liver fibrosis	Kuroda H, Takikawa Y, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
A case report Journal of Clinical Ultrasound. 40:99-104(2011)	Serial changes of liver stiffness measured by acoustic radiation force impulse imaging in acute liver failure.	Kuroda H, Takikawa Y, Onodera M, Kakisaka K, Yoshida Y, Kataoka K, Sawara K, Miyamoto Y, Oikawa K, Endo R, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
Int J Clin Oncol.16:221-229(2011)	Combination therapy of intra-arterial 5-fluorouracil and systemic pegylated interferon $\alpha$ -2b for advanced hepatocellular carcinoma.	3) Kasai K, Ushio A, Kasai Y, Sawara K, Miyamoto Y, Oikawa K, Kuroda H, Takikawa Y, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
Med Sci Monit. 17:CS39-42(2011)	Conservative treatment of an aorto-esophageal fistula after endovascular stent grafting for a thoracic aortic aneurysm	4) Kasai K, Ushio A, Tamura Y, Sawara K, Kasai Y, Oikawa K, Endo M, Takikawa Y, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
Cancer. 10:1002/cncr.26648(2011)	Therapeutic efficacy of combination therapy with intra-arterial 5-Fluorouracil and systemic pegylated Interferon- $\alpha$ -2b for advanced hepatocellular carcinoma with portal venous invasion.	5) Kasai K, Ushio A, Kasai Y, Sawara K, Miyamoto Y, Oikawa K, Kuroda H, Takikawa Y, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
Hepatol Res.41 :87-92(2011)	Carnosic acid Prevents obesity and hepatic steatosis in ob/ob mice	Wang T, Takikawa Y, Satoh T, Yoshioka Y, Kosaka K, Tatemichi Y, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Breast Cancer Res Treat.130: 387-398(2011)	Resveratrol suppresses growth of cancer stem-like cells by inhibiting fatty acid synthase	Pandey PR, Okuda H, Watabe M, Pai SK, Liu W, Kobayashi A, Xing F, Fukuda K, Hirota S, Sugai T, Wakabayashi G, Koeda K, Kashiwaba M, Suzuki K, Chiba T, Endo M, Fujioka T, Tanji S, Mo YY, Cao D, Wilber AC, Walabe K	内科学講座 消化器肝臓内科
Hepatogastroenterology. 29: 115-116(2011)	Viral decline over 48h and HCV amino acid mutations are related to efficacy of PEG-IFN/ribavirin	Miyasaka A, Kunagai I, Abe K, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
Hepatol Res. 41:805-812(2011)	Diagnostic criteria of acute liver failure: A report by the Intractable Hepato Biliary Diseases Study Group of Japan	Mochida S, Takikawa Y, Nakayama N Oketani M, Nakai T, Yamagishi Y, Ichida T, Tsybouchi H	内科学講座 消化器肝臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Hepatology. 54:532-540(2011)	Effect of Vitamin K2 on the Recurrence of Hepatocellular Carcinoma	Yoshida H, Shiratori Y, Kudo M, Shiina S, Mizuta T, Kojiro M, Yamamoto K, Koike Y, Saito K, Koyanagi N, Kawabe T, Kawazoe S, Kobashi H, Kasugai H, Osaki Y, Araki Y, Izumi N, Oka H, Tsuji K, Toyota J, Seki T, Osawa T, Masaki N, Ichinose M, Seike M, Ishikawa A, Ueno Y, Tagawa K, Kuromatsu R, Sakisaka S, Ikeda H, Kuroda H, Kokuryu H, Yamashita T, Sakaida I, Katamoto T, Kikuchi K, Nomoto M, Omata M	内科学講座 消化器肝臓内科
Hepatology. 58:1622-1627(2011)	Correlation between plasma or mucosal ghrelin levels and chronic gastritis	Ikeda K, Chiba T, Sugai T, Kangawa K, Hosoda H, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
Hepatology. 58: 1622-1627(2011)	Correlation between plasma or mucosal ghrelin levels and chronic gastritis	Ikeda K, Chiba T, Sugai T, Kangawa K, Hosoda H, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
Hepatology. 58: 1580-1582(2011)	Effects of proton pump inhibitors in patients with laryngopharyngeal reflux disease	Chiba T, Kudara N, Abiko Y, Endo M, Suzuki K, Suzuki K, Sugai T, Ishijima K, Fukuda K, Yamazaki K, Sato H	内科学講座 消化器肝臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Hepatogastroenterology. 58: 1527-1530(2011)	Serial changes in cytokine expression in irritable bowel syndrome patients following treatment with calcium polycarbophil	Chiba T, Sato K, Toya Y, Endo K, Abiko Y, Kasugai S, Saito S, Oana S, Kudara N, Endo M, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
J Bio Chem.286:18949-18959(2011)	KAI1 gene is engaged in NDRG1 gene-mediated metastasis suppression through the ATF3-NFkappaB complex in human prostate cancer	Liu W, Iizumi-Gairani M, Okuda H, Kobayashi A, Watabe M, Pai SK, Pandey PR, Xing F, Fukuda K, Modur V, Hirota S, Suzuki K, Chiba T, Endo M, Sugai T, Watanabe K	内科学講座 消化器肝臓内科
Hepatogastroenterology. 58: 1474-1478(2011)	A genetic association between $\beta$ 3-Adrenoceptor and cholinergic receptor muscarinic 3 polymorphisms in irritable bowel syndrome	Onodera S, Chiba T, Sugai T, Habano W	内科学講座 消化器肝臓内科
Hepatogastroenterology.58: 1523-1526(2011)	Serial changes of cytokines in crohn's disease treated with infliximab	Mizutani T, Akasaka R, Tomita K, Chiba T	内科学講座 消化器肝臓内科
Case Rep Gastroenterol.5: 667-671(2011)	Peripheral blood CD64 levels decrease in Crohn's disease following granulocyte and monocyte adsorptive apheresis	Chiba T, Endo M, Matsushita S, Sasaki M, Chiba S, Toya Y, Kasugai S, Matsuda N, Orikasa S, Abiko Y, Kudara N, Oana S, Endo M, Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
Gastroenterol Res Pract:429462(2011)	Usefulness of double-balloon endoscopy in the postoperative gastrointestinal tract	18) Endo M, Abiko Y, Oana S, Kudara N, Kosaka T, Chiba T, Takikawa Y, Suzuki K, Sugai T	内科学講座 消化器肝臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Rationale and Design of the MAGIC Study. Cardiovasc Drugs Ther.25:551-560(2011)	Prospective Cohort Study of Gastrointestinal Complications and Vascular Diseases in Patients Taking Aspirin	Origasa H, Goto S, Shimada K, Uchiyama S, Okada Y, Sugano K, Hiraishi H, Uemura N, Ikeda Y, on behalf of the MAGIC Investigators; participating investigator Chiba T	内科学講座 消化器肝臓内科
a multicentre cohort follow-up study of 420 patients in Japan. Gut:in press(2011)	Long-term clinical outcome of gastric MALT lymphoma after eradication of Helicobacter pylori	Nakamura S, Sugiyama T, Matsumoto T, Iijima K, Ono S, Tajika M, Tari A, Kitadai Y, Matsumoto H, Nagaya T, Kamoshida T, Watanabe N, Chiba T, Origasa H, Asaka M; for the JAPAN GAST Study Group	内科学講座 消化器肝臓内科
Oncogene.30: 4075-4086(2011)	Hypoxia-induced Jagged2 promotes breast cancer metastasis and self-renewal of cancer stem-like cells	Xing F, Okuda H, Watabe M, Kobayashi A, Pai SK, Liu W, Pandey PR, Fukuda K, Hirota S, Sugai T, Wakabayshi G, Koeda K, Kashiwaba M, Suzuki K, Chiba T, Endo M, Mo YY, Watabe K	内科学講座 消化器肝臓内科
a survey of current practices. J Gastroenterol Hepatol. 26:2-11(2011)	Asian-Pacific Topic Conference organized by Japanese Society of Gastroenterology and Asian Pacific Association of Gastroenterology. Diagnosis and treatment of functional gastrointestinal disorders in the Asia-Pacific region	Miura S, Sugano K, Kinoshita Y, Fock KM, Goh KL, Gibson P, Chiba T, et al	内科学講座 消化器肝臓内科
日本高齢消化器病学会誌. 13: 23-28 (2011)	肝疾患の栄養療法	鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
栄養—評価と治療. 28:25-27 (2011)	肝硬変の成因別蛋白エネルギー代謝に関する検討	佐原圭、 遠藤龍人 加藤章信 鈴木一幸 白木亮 森脇久隆 齋藤正紀 西口修平	内科学講座 消化器肝臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
肝臓. 52:652-661(2011)	東北ウイルス肝炎治療研究グループ; Serotype 1高ウイルス量C型慢性肝炎に対するペグインターフェロン $\alpha$ -2b、リバビリン併用療法の有用性 東北地区における多施設共同研究成績	宮坂昭生 坂本十一 福田眞作 後藤隆 大西洋英 上野義之 下瀬川徹 齊藤貴史 河田純男 大平弘正 小松眞史 阿部弘一 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
肝臓. 52:393-398(2011)	我が国における「急性肝不全」の概念、診断基準の確立:厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)「難治性の肝胆道疾患に関する調査研究」班、ワーキンググループ-1、研究報告	持田智 滝川康裕 中山伸朗 桶谷真 内木隆 山岸由幸 市田隆文 坪内博仁	内科学講座 消化器肝臓内科
日本臨床. 69:434-439(2011)	B型肝炎 HBV無症候性キャリアの臨床的特徴、マネージメントのあり方	宮坂昭生 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
犬山シンポジウム. 28:175-183(2011)	C型進行肝細胞癌に対するPEG-IFN $\alpha$ -2b/5-FU/リバビリン併用療法の評価	鈴木一幸 葛西和博 黒田英克 宮坂昭生 及川寛太 宮本康弘 滝川康裕	内科学講座 消化器肝臓内科
消化器の臨床. 14:74-78(2011)	過敏性腸症候群(IBS)の診断・治療のコツ 診断・治療に難渋した症例とその対応	千葉俊美 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
心身医学. 51:312-316(2011)	脳腸相関と腸管炎症 消化管炎症マーカーと過敏性腸症候群	千葉俊美 佐藤邦彦 松田望 鳥谷洋右 遠藤啓 織笠俊輔 小坂崇 齋藤慎二 安孫子幸人 春日井聡 小穴修平 遠藤昌樹 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
日本高齢消化器病学会誌. 13:61-66(2011)	内視鏡的止血術を施行した高齢者非静脈瘤上部消化管出血例の臨床的検討	小坂崇 遠藤昌樹 鳥谷洋右 春日井聡 小穴修平 千葉俊美 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
消化器内科. 53:99-103(2011)	C型慢性肝疾患の肝発癌に肥満、糖尿病は関与するか?	黒田英克 吉田雄一 小野寺美緒 及川隆喜 片岡晃二郎 宮本康弘 佐原圭 及川寛太 遠藤龍人 滝川康裕 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
肝胆膵. 63:475-485(2011)	肝臓疾患と栄養療法 臨床部門 肝硬変患者の栄養ガイドライン	遠藤龍人 加藤章信 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
Expert Nurse. 27:66-67(2011)	意外と知らない検査手技・適切な行い方 IOG試験のポイントは？静注の速度は30秒以内に”すみやかに”！	遠藤龍人 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
Medicina. 48:390-393(2011)	各疾患の病態別栄養評価と栄養療法 消化器疾患肝硬変	加藤章信 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
日本消化器病学会雑誌. 108:95-102 (2011)	肝細胞癌術後転移からの出血に対し動脈塞栓療法を施行した1例	稲葉宏次 金沢憲由 和田 勲、 米山和夫 藤井公生 星野孝男 渡部博之 小松正代 藤島裕耕 滝川康裕 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
Frontiers Gastroenterology. 16:89-92(2011)	第14回ISHEN学会参加レポート	加藤章信	内科学講座 消化器肝臓内科
精神医学. 53:855-862(2011)	有床総合病院精神科における精神科医と非精神科医による精神科時間外診療	中山秀紀 丸田真樹 加藤章信他	内科学講座 消化器肝臓内科
消化器内科. 53:539-543 (2011)	過敏性腸症候群におけるβ-3ARおよびCHRM-3 遺伝子多型と病態との関係	鳥谷洋右 小野寺沙織 千葉俊美 織笠俊輔 春日井聡 柴田将 安孫子幸人 小穴修平 廣田茂 遠藤昌樹 菅井有 輿野涉 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
臨床栄養 別冊JCNセレクト. 6:125-130(2011)	腹水をともなう肝硬変患者に対するTNP施行時の水、電解質の考え方	佐原圭 遠藤龍人 加藤章信 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
消化器心身医学. 18:70-76(2011)	合併した不安障害の治療により寛解した難治性潰瘍性大腸炎の1例 ストレス関連物質 クロモグラニンAの測定意義	秋山真親 新沼志津子 星野健 鈴木順 山内広平 千葉俊美 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科



高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
病理と臨床. 29:1065-1070 (2011)	鋸歯状病変の病理診断および分子病理学的特徴	菅井有 山野泰穂 木村友昭 山本栄一郎 豊田実 鈴木一幸	病理学講座
臨床栄養 別冊JCNセレクト. 5:83-89 (2011)	肝疾患	佐原圭 加藤章信 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
消化器内視鏡. 23:1237-1239(2011)	アスピリン内服で出血を起こしやすい患者は？	千葉俊美 藤原隆雄 鳥谷洋右 織笠俊輔 遠藤昌樹	内科学講座 消化器肝臓内科
癌と化学療法. 5:715-721(2011)	Gastrointestinal Stromal Tumor(GIST) の臨床病理と最近の進歩	菅井有、 上杉憲幸 山田篤幸 高橋敬介 若林剛 寺島雅典 千葉俊美 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
日本臨床. 69:84-93(2011)	大腸癌の分子生物学と発癌機序 分子生物学 MSI(マイクロサテライト不安定性)	菅井有 幅野渉 上杉憲幸 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
胃と腸. 46:373-383(2011)	大腸鋸歯状病変の臨床病理学的特徴および分子病理学的意義	菅井有 山野泰穂 木村友昭 山本栄一郎 豊田実 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
総合臨床. 60:1673-1675(2011)	NASHと睡眠呼吸障害	高橋進 西島嗣生 遠藤龍人 櫻井滋	内科学講座 消化器肝臓内科
日本高齢消化器病学会誌. 14:67-72 (2011)	高齢者術後腸管総胆管結石に対するDB-ERCPの治療成績	小穴修平 春日井聡 鳥谷洋右 藤原隆雄 遠藤昌樹 千葉俊美 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
Hepatocellular carcinoma Inteck book.249-264(2011)	Transcatheter arterial chemo-embolization with a fine-powder formulation of cisplatin for unresectable hepatocellular carcinoma	Kasai K Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
がん栄養療法ガイドブック 第2版. メディカルレビュー社.154-162(2011)	腫瘍内科学または腫瘍外科学における静脈栄養療法	加藤章信	内科学講座 消化器肝臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
がん栄養療法ガイドブック 第2版. メ ディカルレビュー社.163-176(2011).	がんに伴う栄養関連症候に対する薬理学的管理	遠藤龍人 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
消化器診療最新ガイドライン 第2版. 総 合医学社.190-194(2011)	II.肝疾患 代謝性肝障害	及川寛太 滝川康裕 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
薬局 増刊号 病気と薬パーフェクト BOOK. 南山堂. 498-501(2011)	肝硬変	加藤章信 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
医歯薬ジャーナル社.132-136(2011)	肝性脳症の治療. 肝硬変のマネジメント(西口修平編)	加藤章信 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
キーワードで分かる臨床栄養(大熊利 忠・金谷節子 編). 羊土社.300- 303(2011)	肝疾患	遠藤龍人 加藤章信 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
胃ろう管理Q&A(東口高志編). 総合医 学社.234-235 (2011)	PEGに用いる機材・器具	近藤公亮 加藤章信	内科学講座 消化器肝臓内科
急性肝不全 今、何が討論され、問題に なっているのか(監修:市田隆文). アーク メディア.33-38(2011)	劇症肝炎に対する人口肝補助療法の有効性と再生治療の必要性	宮本康弘 吉田雄一 小野寺美緒 片岡晃二郎 柿坂啓介 及川寛太 熊谷一郎 黒田英克 宮坂昭生 滝川康裕 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
消化器疾患 最新の治療2011-2012(菅 野健太郎、上西紀夫、井廻道夫 編). 南江堂 .323-325(2011)	10 肝硬変 b 反復性脳症	遠藤龍人 鈴木一幸	内科学講座 消化器肝臓内科
IBS診療Q&A.(福土 審 編). 日本医事 新報社. 60-64(2011)	治療①薬物療法. IBSの消化管に対する治療はどのようにすればよい ですか?	千葉俊美	内科学講座 消化器肝臓内科
消化管運動異常は症状の原因となりま すか? FD診療Q&A.(本郷道夫 編). 日本医事新報社. 14-19(2011)	FDの原因:筋層	千葉俊美	内科学講座 消化器肝臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部 門
APASL 2011. February. Bangkok, Thailand	Evaluation of virtual touch tissue quantification for noninvasive staging of liver fibrosis in chronic liver disease	Kuroda H Kakisaka K Takikawa Y Suzuki K	内科学講座 消化器肝臓内科
Asian J Endosc Surg, 2011; 4:11-15	Laparoscopy-assisted appendectomy through an umbilical port in children	Fukuzawa T, Mizuno M, Nakajima J, Nishizuka S, Otsuka K, Nitta H, Kashiwaba M, Koeda K, Sasaki A, Wakabayashi G	外科学講座
BMC Cancer, 2011;22(11):81	Involvement of promoter methylation in the regulation of Pregnane X receptor in colon cancer cells	Habano W, Gamo T, Terashima J, Sugai T, Otsuka K, Wakabayashi G, Ozawa S,	外科学講座
BMC Res Notes, 2011;10(4):140-148	Analysis of the anti-tumor effect of cetuximab using protein kinetics and mouse xenograft models	Matsuo T, Nishizuka SS, Ishida K, Iwaya T, Ikeda M, Wakabayashi G	外科学講座
Patients. Eur Surg Res, 2011;47(1):32-38	Preliminary Study on Glucose Control with an Artificial Pancreas in Postoperative Sepsis	Takahashi G Sato N Matsumoto N Shozushima T, Hoshikawa K Akitomi S Kikkawa T Onodera C Kojika M Inoue Y Suzuki K, Wakabayashi G, Endo S	外科学講座
bariatric surgery in Japan, 2000-2009. Asian J Endosc Surg, 2011;4(3):138-142	Research Society for Endoscopic and Laparoscopic Treatments of Obesity:Results of a national survey on laparoscopic	Ohta M, Kitano S, Kasama K, Kawamura I, Inamine S, Wakabayashi G, Tani T, Kuвано H, Doki Y, Atomi Y, Kitajima M, Japan	外科学講座
J Hepatobiliary Pancreat Sci, 2011; 18(4):481-487	Our initial experience with robotic hepato-biliary-pancreatic surgery	Wakabayashi G, Sasaki A, Nishizuka S, Furukawa T, Kitajima M,	外科学講座
World J Surg, 2011;35(7):1469-1477	Minimally invasive surgery for gastric cancer: the future standard of care.	Koeda K, Nishizuka S, Wakabayashi G	外科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Surgery Today, in press	Totally laparoscopic stapled distal pancreatectomy	Katagiri H, Sasaki A, Nitta H, Takahara T, Nishizuka S, Wakabayashi G	外科学講座
Eur Surg Res, 2011;47(3):135-140	Changes in Serum S100A12 and sRAGE Associated with Improvement of the PaO <sub>2</sub> /FiO <sub>2</sub> Ratio following PMX-DHP Therapy for Postoperative Septic Shock	Takahashi G Hoshikawa K Matsumoto N Shozushima T Onodera C Kan S Akitomi S Ikkawa T Tomisawa Y Kojika M Sato N Inoue Y Suzuki K Wakabayashi G Endo S	外科学講座
Mol Cancer Ther, 2011;10(9):1635-1644	Synthetic triterpenoid cyano enone of methyl boswellate activates intrinsic, extrinsic, and endoplasmic reticulum stress cell death pathways in tumor cell lines	Ravanan P Sano R Talwar P Ogasawara S Matsuzawa S Cuddy M Singh SK Rao G.S.R.S Kondaiah P Reed JC	外科学講座
Am J Surg, 2011; 202(4):441-448	Impact of three-dimensional analysis of multidetector row computed tomography cholangioportography in operative planning for hilar cholangiocarcinoma	Sasaki R Kondo T Oda T Murata S Wakabayashi G Ohkohchi N	外科学講座
Breast Cancer Res Treat, 2011;130(2):387-398	Resveratrol suppresses growth of cancer stem-like cells by inhibiting fatty acid synthase	Pandey PR, Okuda H, Watabe M, Pai SK, Liu W, Kobayashi A, Xing F, Fukuda K, Hirota S, Sugai T, Wakabayashi G Koeda K, Kashiwaba M, Suzuki K, Chiba T, Endo M, Fujioka T, Tanji S, Mo YY, Cao D, Wilber AC, Watabe K	外科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
J Infect Chemother, 2011;17(6):812-820	Retrospective study on the effect of tight glucose control in postoperative sepsis patients using an artificial pancreas	Takahashi G Matsumoto N Shozushima T Onodera C Kan S Akitomi S Hoshikawa K Kikkawa T Kojika M Inoue Y Suzuki K Wakabayashi G Endo S	外科学講座
Adjusting the dose of adjuvant chemotherapy according to the surgical procedures. Cancer Chemother Pharmacol, in press	A Phase I study for adjuvant chemotherapy of Gemcitabine plus S-1 in curatively resected patients with biliary tract cancer	Takahara T Nitta H Hasegawa Y Ito N Takahashi M Nishizuka S Wakabayashi G	外科学講座
Oncogene, 2011;30(39):4075-4086	Hypoxia-induced Jagged2 promotes breast cancer metastasis and self-renewal of cancer stem-like cells	Xing F Okuda H Watabe M Kobayashi A Pai SK Liu W Pandey PR Fukuda K Hirota S Sugai T Wakabayashi G Koeda K Kashiwaba M Suzuki K Chiba T Endo M Mo YY Watabe K	外科学講座
手術, 2011;65(3):309-313	腹腔鏡下系統的肝切除術	伊藤 直子 新田 浩幸 佐々木 章 若林 剛	外科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
内分泌外科, 2011 28(1):27-32	特集2 甲状腺未分化癌研究コンソーシアム 長期生存例の生存因子解析	吉田 明 宮内 昭 杉野 公則 杉谷 巖 藤盛 啓成 伊藤 研一 富澤 勇貴 田中 克浩 鳥 正幸 和田 修幸 鈴木 眞一 杉野 圭三 吉田 剛 細井 裕司 小野田 尚 長谷川 泰久 山田 弘之 岩瀬 克己 吉本 世一 今井 常夫 折田 尚 宮崎 眞和 宇賀 達也 福内 教 清水 一雄 栗原 英夫 原 尚人 小川 利久 北野 博也 藤森 実 三浦 弘規	外科学講座
麻酔, 2011;60(3): 343-352	肝切除術における心房性ナトリウム利尿ペプチドの有用性	田村 雄一郎 永田 博文 佐藤 美浩 新田 浩幸 若林 剛	外科学講座
日本医事新報, 2011;4537:69-72	保険収載された腹腔鏡下肝切除術	若林 剛	外科学講座
治療 増刊号, 2011;93,886-889	腹腔鏡下肝切除の適応と成績について教えて下さい	若林 剛	外科学講座
臨床と研究, 2011;88(4):33-36	ここまで進んだ先端医療 腹腔鏡補助下肝切除術	若林 剛	外科学講座
消化器外科NURSING, 2011;16(4):85	ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	新田 浩幸 若林 剛	外科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
岩手医学雑誌, 2011; 63(1):63-68	上縦隔洞炎を伴った魚骨による食道穿孔の1例	伊藤 直子 木村 祐輔 岩谷 岳 新田 浩幸 大塚 幸喜 肥田 圭介 西塚 哲 水野 大 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
岩手医学雑誌, 2011 63(1):57-62	アカラシア術後に発生した食道癌の2例	木村 聡元 岩谷 岳 木村 祐輔 野田 芳範 御供 真吾 高橋 正統 肥田 圭介 佐々木 章 上杉 憲幸 若林 剛	外科学講座
岩手医学雑誌, 2011; 63(1):51-55	腹腔内迷入により発見された経肛門的異物の1例	木村 聡元 小林 慎 高金 明典	外科学講座
小児外科, 2011; 43(5): 506-509	血液凝固障害を伴う新生児肝血管腫に対する肝切除術	有末 篤弘 水野 大 福澤 太一 小林 めぐみ 若林 剛	外科学講座
消化器外科 臨時増刊号, 2011; 34(6): 939-944	肝・胆・脾の手術 腹腔鏡下肝外側区域切除術	若林 剛	外科学講座
日本臨床外科学会雑誌, 2011; 72(6): 1589-1594	横行結腸間膜裂孔ヘルニアの1例	御供 真吾 大塚 幸喜 板橋 哲也 箱崎 将規 加藤 久仁之 若林 剛	外科学講座
日本外科学会雑誌, 2011; 112(4):240-241	先天性心疾患合併小児外科疾患の治療戦略—小児外科医の立場から—	水野 大	外科学講座
岩手医学雑誌, 2011; 63(3):149-158	CD10 陽性大腸癌の分子病理学的解析	赤坂 理三郎 菅井 有 大塚 幸喜 若林 剛 千葉 俊美	外科学講座
Medicament News, 2011; 2064: 21-24	がん疼痛治療 (第49回日本癌治療学会関連特集)	木村 祐輔	外科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
岩手医学雑誌, 2011;63(4):249-253	鼠径ヘルニア術後慢性疼痛の検討	板橋 哲也 岩谷 岳 富澤 勇貴 中嶋 潤 御供 真吾 伊藤 直子 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
外科治療, 2011;105(4):383-390	食道癌に対する外科治療の適応と限界	木村 祐輔 岩谷 岳 野田 芳範 鴻巣 正史 西塚 哲 肥田 圭介 大塚 幸喜 新田 浩幸 柏葉 匡寛 佐々木 章 水野 大 若林 剛	外科学講座
癌と化学療法, 2011;38(10):1683-1686	PTX/CDDP を用いた化学放射線療法とS-1 投与によりCR が認められている食道胃接合部癌の1 例	藤原 久貴 肥田 圭介 鴻巣 正史 細井 信之 玉澤 佳之 佐瀬 正博 塚原 智典 牛尾 晶 田口 雅海 若林 剛	外科学講座
癌と化学療法, 2011;38(12):2445-2447	ゲムシタピン剤形変更の試み	杉立 彰夫 池田 みゆき 松尾 鉄平 西塚 哲 新田 浩幸 高橋 正浩 高原 武志 伊藤 直子 長谷川 康 若林 剛	外科学講座
癌と化学療法, 2011;38(12):2081-2083	腹水癌に対するシスプラチン新剤形の開発(第33 回日本癌局所療法研究会 奨励賞受賞論文)	板橋 哲也 杉立 彰夫 木村 祐輔 池田 みゆき 熊谷 真奈美 松尾 鉄平 藤井 仁志 西塚 哲 大塚 幸喜 肥田 圭介 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
岩手医学雑誌, 63(5),299-306,2011	reverse-phase protein lysate microarray(RPA)による細胞内シグナル伝達経路モニタリング	松尾 鉄平 西塚 哲 石田 和茂 野田 宏伸	外科学講座
癌の臨床, 2011;57(5):231-236	腹腔鏡下肝切除術-肝癌に対する根治的低侵襲治療	若林 剛	外科学講座



高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Journal of Clinical Neuroscience. 18(3): 396-400(2011)	Combination of the Williams Isu method and the transvertebral approach to treat cervical disease	Kim, K Isu, T Sugawara, A Morimoto, D Shimada, Y Matsumoto, R Isobe, M Mishina, M Kobayashi, S Teramoto, A	脳神経外科学講座
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 18(2):89-98(2011)	Serum low-density lipoprotein to high-density lipoprotein ratio as a predictor of future acute myocardial infarction among men in a 2.7- year cohort study of a Japanese northern rural population	Yokokawa, H. Yasumura, S Tanno, K Ohsawa, M Onoda, T Itai, K Sakata, K Kawamura, K Tanaka, F Yoshida, Y Nakamura, M Terayama, Y Ogawa, A Okayama, A	脳神経外科学講座
Neurological medico-chirurgica. 51(2): 108-112(2011)	Selective posterior decompression of the cervical spine	Kim, K Isu, T Sugawara, A *Mastumoto, R *Isobe, M *Morimoto, D *Mishina, M *Kobayashi, S *Yoshida, D *Teramoto, A	脳神経外科学講座
Neurological medico-chirurgica. 51(3): 208-213(2011)	Detailed study of graft sinking and worsening of the fused segment angle in patients with cervical disease treated with the Williams-Isu method	Kom, K *Isu, T Sugawara, A *Morimoro, D *Matsumoto, R *Isobe, M *Mishina, M *Kobayashi, S *Teramoto, A	脳神経外科学講座
The Journal of Nuclear Medicine. 52(4): 511-518(2011)	Central benzodiazepine receptor binding potential and CBF images on SPECT correlate with oxygen extraction fraction images on PET in the cerebral cortex with unilateral major cerebral artery occlusive disease	Chida, K Ogasawara, K Aso, K Kobayashi, M Fujiwara, S Yoshida, K Terasaki, K. Ogawa, A	脳神経外科学講座
Magnetic Resonance in Medical Sciences. 10(4):219-227(2011)	MR contrast in mouse lymph nodes with subcutaneous administration of iron oxide particles: size dependency	Mori, Y Uneda, M Fukunaga, M Ogasawara, K Yoshioka, Y	脳神経外科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
International Heart Journal. 52(3):180-184(2011)	Serum c-reactive protein levels and death and cardiovascular events in mild to moderate chronic kidney disease	Koeda, Y Nakamura, M Tanaka, F Onoda, T Itai, K Tannno, K Ohsawa, M Makita, S Ishibashi, Y Koyama, T Yoshida, Y Omama, S. Ogasawara, K Ogawa, A Kuribayashi, Y Okayama, A	脳神経外科学講座
Journal of Neuro-Oncology. 103(3): 619-627(2011)	Prediction of malignancy grading using computed tomography perfusion imaging in nonenhancing supratentorial gliomas	Beppu, T Sasaki, M Kudo, K Kurose, A Takeda, M Kashimura, H Ogawa, A Ogasawara, K	脳神経外科学講座
Neurologia medico-chirurgica. 51(7): 479-483(2011)	Adverse effects of intravenous acetazolamide administration for evaluation of cerebrovascular reactivity using brain perfusion single-photon emission computed tomography in patients with major cerebral artery steno-occlusive	Saito, H Ogasawara, K Suzuki, T Kuroda, H Kobayashi, M Yoshida, k Kubo, Y Ogawa, A	脳神経外科学講座
Published online(8). : (2011)	CT and MR perfusion can discriminate severe cerebral hypoperfusion from perfusion absence: evaluation of different commercial software packages by using digital phantoms. Neuroradiology	Uwano, I Kubo, Y Sasaki, M Christensen, S Ostergaaed, L Ogasawara k Ogawa, A	脳神経外科学講座
Neurosurgery. 69(2):301-307(2011)	Intentional hypertension during dissection of carotid arteries in endarterectomy prevents postoperative development of new cerebral ischemic lesions caused by intraoperative microemboli	Kobayashi, M Ogasawara, K Yoshida, K Sasaki, M Kuroda, H Suzuki, T Kubo, Y Fujiwara, S Ogawa, A	脳神経外科学講座
Journal Neurology Neurosurgery & Psychiatry. 82(8):869-875(2011)	1H-magnetic resonance spectroscopy indicates damage to cerebral white matter in the subacute phase after CO poisoning	Beppu, T Nishimoto, H Fujiwara, S Kudo, K Sanjo, K Narumi, S Oikawa, H Onodera, M Ogasawara, K Sasaki M	脳神経外科学講座
The Journal of Nuclear Medicine. 52(9): 1400-1407(2011)	Preoperative central benzodiazepine receptor binding potential and cerebral blood flow images on SPECT predict development of new cerebral ischemic events and cerebral hyperperfusion after carotid endarterectomy	Sato, Y Ogasawara, K Kuroda, H Suzuki, T Chida, K Fujiwara, S Aso, K Kobayashi, M Yoshida, K Terasaki, K Ogawa, A	脳神経外科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
岩手医学雑誌. 63(2):69-77 (2011)	123I-iomazenilおよび脳血流single-photon emission computed tomographyを用いた貧困灌流の検出精度:アセタゾラミド反応性との比較	黒田博紀	脳神経外科学講座
Diabet Med. 28(1):109-116, 2011.	Efficacy and safety of pregabalin for treating neuropathic pain associated with diabetic peripheral neuropathy: a 14 week, randomized, double-blind, placebo-controlled trial	Satoh J Yagihashi S Baba M Suzuki M Arakawa A Yoshiyama T Shoji S	内科学講座 糖尿病代謝内科
Tohoku J Exp Med. 224(3): 173-178, 2011	Higher serum free triiodothyronine levels within the normal range are associated with metabolic syndrome components in type 2 diabetic subjects with euthyroidism	Taneichi H Sasai T Ohara M Homma H Nagasawa K Takahashi T Ishii M Fujiwara F Yamashina M Kajiwara T Takabe N Takahashi K Satoh J	内科学講座 糖尿病代謝内科
J Diabet Invest 2(6): 457-463, 2011.	Efficacy and safety evaluation of pregabalin treatment over 52 weeks in patients with diabetic neuropathic pain extended after a double-blind placebo-controlled trial	Satoh J Yagihashi S Baba M Suzuki M Arakawa A Yoshiyama T	内科学講座 糖尿病代謝内科
Endocrine J 58(12): 1037-1043, 2011	Recurrent hypoglycemia during pregnancies in a woman with multiple autoantibodies including anti-insulin receptor antibody and anti-platelet antibody, whose serum lowered murine blood glucose levels and phosphorylated insulin receptor of CHO-IR cells	oshihiro M Katagiri H Kataoka K Fukushima A Segawa T Fujiwara T Hikichi I Takebe N Satoh J	内科学講座 糖尿病代謝内科
Diabetes Metab Res Rev. 27(8):830-3, 2011	Serum CXCL1 concentrations are elevated in type 1 diabetes mellitus, possibly reflecting activity of anti-islet autoimmune activity	Takahashi K Ohara M Sasai T Homma H Nagasawa K Takahashi T Yamashina M Ishii M Fujiwara F Kajiwara T Taneichi H Takebe N Satoh J	内科学講座 糖尿病代謝内科
Diabetes Metab Res Rev. Nov;27(8):844-8.2011	Japanese Study Group on Type 1 Diabetes Genetics. Analysis of the HLA and non-HLA susceptibility loci in Japanese type 1 diabetes	Yamashita H Awata T Kawasaki E. Ikegami H Tanaka S Maruyama T Shimada A Nakanishi K Takahashi K Kobayashi T Kawabata Y Miyashita Y Kurihara S Morita-Ohkubo T Katayama S	内科学講座 糖尿病代謝内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Journal of Cardiology Cases. 3(1): e2-e8(2011)	Chronic thrombus occlusion after bare metal stenting in a patient with acute coronary syndrome visualized by optical coherence tomography	Itoh, T Fusazaki, T Oikawa, H Kimura, T Gotoh, I Matsui, H Sugawara, S Nakamura, M	循環器腎内分泌内科分野
Int Heart J. 52(1): 32-38(2011)	Clinical profiles, efficacy of antiarrhythmic drug therapy, and cardiovascular prognosis in patients with first detected paroxysmal atrial fibrillation	Komatsu, T Tachibana, H Sato, Y Ozawa, M Kunugida, F Nakamura, M	循環器腎内分泌内科分野
Circ J. 75 (7): 1633-1640(2011)	Morphological and Quantitative Analysis of Vascular Wall and Neointimal Hyperplasia After Coronary Stenting? Comparison of Bare-Metal and Sirolimus -Eluting Stents Using Optical Coherence Tomography ?	Gotoh, I Itoh, T Kimura, T Fusazaki, T Matsui, H Sugawara, S Komuro, K Nakamura, M	循環器腎内分泌内科分野
Int Heart J. 52(3): 180-184(2011)	Serum C-reactive protein levels and death and cardiovascular events in mild to moderate chronic kidney disease.	Koeda, Y Nakamura, M Tanaka, F Onoda, T Itai, K Ohsawa, M Makita, S Ishibashi, Y Koyama, T Yoshida, Y Omama, S Ogasawara, K Ogawa, A Kuribayashi, T Okayama, A	循環器腎内分泌内科分野
Intern Med. 50: 381-387(2011)	Association between metabolic syndrome and carotid atherosclerosis:relevance of combined criteria including the serum adiponectin level for the general population	Abiko, A Makita, S Naganuma, Y Nagai, M Nakamura, M	循環器腎内分泌内科分野
J Card Fail. 17(11): 923-929(2011)	A cellular microRNA, let-7i, is a novel biomarker for clinical outcome in patients with dilated cardiomyopathy	Sato, M Minami, Y Takahashi, Y Tabuchi, T Nakamura, M	循環器腎内分泌内科分野
Int Heart J. 52(4): 212-217(2011)	Long-term efficacy of amiodarone therapy for the prevention of recurrence of paroxysmal atrial fibrillation -Analysis based on patient characteristics-	Komatsu, T Tachibana, H Sato, Y Ozawa, M Kunugida, F Nakamura, M	循環器腎内分泌内科分野
Int Heart J. 52(6): 359-365(2011)	Long-term efficacy of upstream therapy with lipophilic or hydrophilic statins on antiarrhythmic drugs in patients with paroxysmal atrial fibrillation: comparison between atorvastatin and pravastatin	Komatsu, T Tachibana, H Sato, Y Ozawa, M Kunugida, F Nakamura, M	循環器腎内分泌内科分野

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Am J Cardiol. 108(11): 1564- 1569(2011)	Sex-specific threshold levels of plasma B-type natriuretic peptide for prediction of cardiovascular event risk in a Japanese population initially free of cardiovascular disease.	Nakamura, M Tanaka, F Takahashi, T Makita, S Ishisone, T Onodera, M Ishibashi, Y Itai, K Onoda, T Ohsawa, M Tanno, K Sakata, K Omama, S Ogasawara, K Ogawa, A Kuribayashi, T Okayama, A	循環器腎内分泌内科分野
Heart and Vessels. 4: (2011)	Prospective, randomized, single-blind comparison of effects of 6 months' treatment with atorvastatin versus pravastatin on leptin and angiogenic factors in patients with coronary artery disease	Takahashi, Y Sato, M Tabuchi, T Nakamura, M Sugawara, S	循環器腎内分泌内科分野
Circ.J. 75(9): 2087-2094(2011)	Time in the therapeutic range during warfarin therapy in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation. - A multicenter study of its status and influential factors-	Okumura, K Komatsu, T Yamashita, T Okuyama, Y Harada, M Konta, Y Hatayama, T Horiuchi, D Tsushima, E	循環器腎内分泌内科分野
J Epidemiol. 21(6): 491-499(2011)	Seropositivity for anti-HCV core antigen is independently associated with increased all-cause, cardiovascular, and liver disease-related mortality in hemodialysis patients. J Epidemiol. 21(6): 491-499(2011)	Ohsawa, M kato K Tanno, K Itai, K Fujishima, Y Okayama, A Tanvir Chowdhury Turin, Onoda, T Suzuki K Nakamura, M Kawamura, K Akiba K Sakata, K Fujioaka, T	循環器腎内分泌内科分野
血圧. 18(4): 344-345(2011)	高血圧前症での血清反応性蛋白値と虚血性脳卒中発症リスク-地域健常住民での検討	田中文隆 中村元行 Iwate-KENCO研究グループ	循環器腎内分泌内科分野
Therapeutic Research. 32(3): 395-403(2011)	発作性心房細動(AF)に対するアブリンジンの長期予防効果-多変量解析による検討-	橋英明 小松隆 佐藤嘉洋 梶田房紀 小澤真人 中村元行 中村紳	循環器腎内分泌内科分野

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
日本循環器病予防学会誌. 46(1): 13-29(2011)	KAREN研究グループ: 透析患者の血清中ヒ素濃度の検討-健常対照との比較、血清ヒ素濃度が心筋梗塞ならびに虚血性脳卒中罹患リスクに与える影響	大澤正樹 板井一好 丹野高三 藤島洋介 加藤香廉 岡山明 遠藤重厚 小野田敏行 坂田清美 中村元行 栗林徹 藤岡知昭	循環器腎内分泌内科分野
Progress in Medicine. 31(Suppl): 652-655(2011)	難治性発作性/持続性心房細動におけるアミオダロンとプラバスタチン併用療法の検討	小澤真人 小松隆 橋英明 佐藤嘉洋 梶田房紀 中村元行	循環器腎内分泌内科分野
心電図. 31(4): 356-363(2011)	低心機能あるいは心不全の既往をもつ発作性心房細動に対する抗不整脈薬の長期予防効果と心血管予後-アミオダロンとベプリジルとの比較検討-	小松隆 橋英明 佐藤嘉洋 小澤真人 梶田房紀 中村元行	循環器腎内分泌内科分野
International Archives of Allergy and Immunology. 155 (2) : 129-140 (2011)	Novel ribbon-type nuclear factor of activated T cells decoy oligodeoxynucleotides preclude airways hyperreactivity and Th2 cytokine expression in experimental asthma.	Nakamura, Y Nagashima, H Akiyama, M Sato, A Miyamoto, T Sasaki, N Nitanai, H Kowata, K Nakadate, T Kobayashi, H Uesugi, N Sugai, T Kakiuchi, T Inoue, H Yamauchi, K	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科
Journal of medical case reports. 5: 526-531 (2011)	Multiple Scedosporium apiospermum abscesses in a woman survivor of a tsunami in northeastern Japan: a case report.	Nakamura, Y Utsumi, Y Suzuki, N Nakajima, Y Murata, O Sasaki, N Nitanai, H Nagashima, H Miyamoto, S Yaegashi, J Hatakeyama, T Shibano, Y Yarita, K Kamei, K Nakadate, T Endo, S Terayama, Y Yamauchi, K	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科
Pathology -Research and Practice. 207 : 383-390 (2011)	Histological analysis of esophageal muscular layers from 27 autopsy cases with mixed connective tissue disease (MCTD)	Uzuki, M Kamataki, A Watanabe, M Sasaki, N Miura, Y Sawai, T	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Allergy international. 60 : 291-298 (2011)	Effect of genetic variation of IL-13 on airway remodeling in bronchial asthma	Nagashima, H Nakamura, Y Kanno, H Sawai, T Inoue, H Yamauchi, K	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科
Biochemical Pharmacology 82(12) 1884- 1890 (2011)	Vincristine potentiates the anti-proliferative effect of an aurora kinaseinhibitor, VE-465, in myeloid leukemia cells.	Kozue, Yoshida Tadashi, Nagai Ken, Ohmine Mitsuyo, Uesawa Piyanuch, Sripayap Yoji, Ishida.	内科学講座 血液・腫瘍内科分野
J Infect Chemother 17(1): 58-67 (2011)	Clinical efficacy and safety of biapenem for febrile neutropenia In patients with underlying hematopoietic diseases:a multi-institutional study	Nakagawa, Y Suzuki, K Ishida, Y Urabe A et al.	内科学講座 血液・腫瘍内科分野
J Clin Exp Hematop 51(1) 29-35 (2011)	Comparison of long-term clinical outcomes of CHOP chemotherapy between Japanese patients with nodal peripheral T-cell lymphomas and those with diffuse large B-cell lymphoma in the study group of the Tohoku Hematology Forum.	Akagi, T Harigae, H Ishida, Y Sawada, K	内科学講座 血液・腫瘍内科分野
J Thorac Cardiovasc Surg. 141:716- 724:2011	Change in left ventricular twist after mitral valve repair/	Toshinobu Kazui Hiroyuki Niinuma Junichi Tsuboi Hitoshi Okabayashi	心臓血管外科学講座
J Thoracic Cardiovasc Surg. 141:1455- 60:2011	Up to six year follow-up after pulmonary vein isolation for persistent/permanent atrial fibrillation:Importance of sinus node function /	Yoshiharu Soga, Hitoshi Okabayashi Yoshio Arai, Takuya Nomoto Jota Nakano, Takehiko Matsuo Michiya Hanyu	心臓血管外科学講座
胸部外科. 64. 9:796-797(2011)	肋間筋弁作成法	岸本晃司 友安 信 谷田達男	呼吸器外科学講座
Blood Purification: 32: 43-47 (2011).	Serum selenium levels in hemodialysis patients are significantly lower than those in healthy controls	Fujishima, Y Ohsawa, M Itai, K Kato, K, Tanno, K Tanvir Chowdhury Turin Onoda, T Endo, S Okayama, A Fujioka, T	整形外科科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Journal of Spine Research: 2: 268-271 (2011)	The Validity Study of Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire(JOABPEQ)for the Patients with Leg Symptom Associated with Lumbar Disc Herniation	Kanamori,M Fukui,M Chiba,K Kawakami,M Misamoto,M. Nakai,S Shimamura,T Taguchi,T Takeshita,k Tanaka,Y Tani,T Taniguchi,S Wada,E Yonenobu,K	整形外科学講座
The Journal of Rheumatology: 38(4): 730-737 (2011).	Cartilage Destruction Is Partly Induced by the Internal Proteolytic Enzymes and Apoptotic Phenomenon of Chondrocytes in Relapsing Polycondritis	Ouchi,N Ozaki,M Kammataki,A Miura,Y Sawai,T	整形外科学講座
Japanese Journal of Clinical Oncology :41(9) : 1094-1100 (2011).	Primary(De Novo) Dedifferentiated Liposarcoma in the Extremities: A Multi-Institution Tohoku Musculoskeletal Tumor Society Study of 18 Cases in Northern Japan	Okada,K Hasegawa,T Kawai,A Ogose,A Nishida,J Yanagawa,M Morita,T Tajino,T Tsuchiya,T	整形外科学講座
Current Orthopaedic Practice: 22(4): 309-314(2011).	Vascularized bone reconstructive approaches after tumor resection	Nishida,J Shimamura,T	整形外科学講座
Upsala Journal of Medical Sciences: 116(4): 265-268 (2011).	A clinicopathological study of giant cell tumor of small bones	Yanagisawa,M Okada,K Tajino,T Torigoe,T Kawai,A Nishida,J	整形外科学講座
Clinica Chimica Acta: 412: 2146-2149 (2011)	Serum ionic fluoride concentrations are significantly decreased after treatment with alendronate in patients with osteoporosis	Sato,H Tannno,K Murooka,G Itai,K	整形外科学講座
ここまで使える創外固定:17:45-50 (2011)	手指PIP関節周囲の骨折に対する創外固定を用いた治療	古町 克郎 西田 淳	整形外科学講座
整形外科:62(3):233-236(2011)	頰椎前縦靭帯骨化途絶部高位の骨棘様骨化巣により嚥下障害をきたした2例	八重樫幸典 村上 秀樹 吉田 知史 内村瑠里子 佐藤 博宜 山崎 健 嶋村 正	整形外科学講座
東日本震災会誌:23:25-24(2011)	関節リウマチにおけるCD14陽性細胞の役割—蛍光二重染色および電子顕微鏡学的解析—	村上 賢也 鎌滝 章央 嶋村 正 澤井 高志	整形外科学講座



高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
東日本震災学会誌:23:58-62(2011)	肘部管症候群再手術例の検討	田島 克巳 古町 克郎 内村 瑠里子 西田 淳 白石 秀夫 嶋村 正	整形外科学講座
東北整形災害外科学会雑誌:55(1):45-48(2011)	当センターにおける中枢性麻痺性疾患例の重症度の変化	北川 由佳 田島 育郎 穴戸 博 本田 恵 田澤 陸夫	整形外科学講座
東北整形災害外科学会雑誌:55(1):80-86(2011)	腓骨近位部に発生した軟骨肉腫の2例	三又 義訓 西田 淳 白石 秀夫 鈴木 善明 赤坂 俊樹 及川 伸也 村上 賢也 嶋村 正	整形外科学講座
脊柱変形由来の胸郭不全症候群の実態調査とその診断・治療方針の検討: 31-34(2011)	乳幼児脊柱変形に対しDual Growing Rod法を用い、上下固定端に椎弓スクリューによるアンカーを作成した症例の臨床的研究	山崎 健	整形外科学講座
東日本整形災害外科学会雑誌:23: 263-267(2011)	橈骨遠位端骨折手術における手術成績の検討 一掌側ロッキングプレートと橋渡し型創外固定の比較一	佐藤 光太郎 貝山 潤 古町 克郎 西田 淳 鈴木 善明 嶋村 正	整形外科学講座
岩手医科雑誌:63(3):181-191(2011)	関節軟骨変性のMRI画像解析と生化学的定量との比較検討	八重樫幸典 田島 吾郎 村上 秀樹 菅原 敦 鈴木 忠 嶋村 正	整形外科学講座
岩手医科雑誌:63(3):137-147(2011)	岩手県北3医療圏における大腿骨近位部骨折罹患調査:骨折型別にみた受傷原因の解析	佐藤 博宣 丹野 高三 坂田 清美	整形外科学講座
生体内設置人工材料機器の不具合発 現状況の実態調査 第3報:厚生労働科 学研究費補助金 医薬品・医療機器等レ ギュラトリーサイエンス総合研究事業: 26-46(2011)	医療機器市販後安全情報の医療機関等への情報伝達手段などに関する研究	嶋村 正	整形外科学講座
生体内設置人工材料機器の不具合発 現状況の実態調査:厚生労働科学研究 費補助金 医薬品・医療機器等レギュラ トリーサイエンス総合研究事業:41- 82(2011)	医療機器市販後安全情報の医療機関等への情報伝達手段などに関する研究	嶋村 正	整形外科学講座
岩手医科雑誌:63(4):239-248(2011)	脊柱側弯症術後の血液・毛髪内チタン濃度に関する検討	内村 瑠里子 山崎 健 村上 秀樹 吉田 知史 山部 大輔 鈴木 忠 嶋村 正 世良 耕一郎	整形外科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
岩手医科雑誌:63(4):219-228(2011)	肩筋縫合後の腱・腱鞘間滑走抵抗:In a canine model in vivo	佐藤 正義 西田 淳 赤坂 俊樹 川村 竜平 鈴木 忠 嶋村 正	整形外科学講座
臨床整形外科:46(7):605-608(2011)	前腕回内・回外拘縮に対する弾性体を使用した動的スプリントの使用経験	佐藤光太郎 古町 克郎 山部 大輔 菅原 敦 鈴木 善明 嶋村 正	整形外科学講座
岩手医科雑誌:63(5):317-328(2011)	Alginate beadsで培養した椎間板軟骨細胞に対するinterleukin-17A添加の効果	遠藤 寛興 清水 新司 吉田 知史 村上 秀樹 鈴木 忠 嶋村 正	整形外科学講座
Journal of Spine Research:2(11):1740-1744(2011)	牽引下3D-CTによる側弯カーブのflexibilityの三次元的評価	山崎 健 村上 秀樹 吉田 知史 島谷 剛美 嶋村 正	整形外科学講座
整形外科:62(13):1413-1417(2011)	小皮切アキレス腱縫合術における工夫	佐藤光太郎 鈴木 善明 菅原 敦 山部 大輔 嶋村 正	整形外科学講座
6小児:6:63-67(2011)	Chapter4 膝の問題 弾発膝と円板状半月:アトラス骨・関節画像診断	一戸貞文	整形外科学講座
Crit. Care. Med. 39: 770-776(2011)	The impact of intrarenal nitric oxide synthase inhibition on renal blood flow and function in mild and severe hyperdynamic sepsis	Ishikawa, K Bellomo, R May, C.N	小児科学講座
Case. Rep. Gastroenterol. 5: 667-671 (2011)	Peripheral blood CD64 levels decrease in Crohn's disease following granulocyte and monocyte adsorptive apheresis	Chiba, T Endo, M Matsushita, S Sasaki, M Chida, S Toya, Y Kasugai, S Matsuda, N Orikasa, S Abiko, Y Kudara, N Oana, S Endo, M Suzuki, K	小児科学講座
J. Pediatr. Epub Nov 1(2011)	Proton magnetic resonance spectroscopic images in preterm infants with bilirubin encephalopathy	Kamei, A Sasaki, M Akasaka, M Soga, N Kudo, K Chida, S	小児科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
信学技報. 111:37-41 (2011)	遠隔画像診断のための心臓超音波画像へのSVC適応可能性の検討	藤井 寛 早瀬和也 小山耕太郎 大平 隆 柿沼博一 藤野雄一 澤井高志 猪飼秋夫	小児科学講座
日小児腎会誌. 24: 47-52 (2011)	ポリアクリロニトリル膜を使用した保存血プライミング回路におけるブラジキニンの動態:保存血浄化法の検討	佐々木慎 高田 彰 石川 健 千田勝一	小児科学講座
てんかん研究. 29: 14-21 (2011)	脳室周囲白質軟化症における 頭てんかんの発症予測因子.	曾我菜海 亀井 淳 赤坂真奈美 千田勝一	小児科学講座
てんかん研究. 28: 416-421 (2011)	バルプロ酸とACTHの併用による低フィブリノゲン血症	曾我菜海 赤坂真奈美 亀井 淳 佐々木慎 遠藤正宏 鈴木 悠 松下翔子 千田勝一	小児科学講座
平成22年度HIV母子感染全国調査研究報告書(主任研究者 和田裕一). (2011)	HIV感染妊婦より出生した児の実態調査と子どもの健康と発達支援. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 「HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班	外川正生 葛西健郎 園方徹也 山中純子 細川真一 木内 英 田中瑞恵 齋藤昭彦 前田尚子 尾崎由和 市場博幸 天羽清子 武知茉莉亜 乾 未来 小林真之 榎本てる子 辻麻理子	小児科学講座
Auris Nasus Larynx 38(2):295-299.2011	A case of hemodialysis -associated amyloidosis localized to the external auditory canal	Yamazaki K Sato H Ishijima K Abe T Ishikawa K	耳鼻咽喉科学講座
Hepatogastroenterology 58:1580-1582.2011	Effects of proton pump inhibitors in patients with laryngopharyngeal reflux disease	Chiba T Kudara N Abiko Y Endo M Suzuki K Sugai T Ishijima K Yamazaki K Sato H	耳鼻咽喉科学講座
Documenta Ophthalmologica 122(3):191-197.2011	Melanoma-associated retinopathy associated with intranasal melanoma	Machida S Ohguro H Suzuki M Tateda M Sugai T Sato H Kurosaka D	耳鼻咽喉科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Japanese Clinical Medicine 2:53-55.2011	Introduction of new laryngeal closure methods for intractable aspiration impaired	Tateda M Yokoyama T Mizukawa A Katori Y Sato H	耳鼻咽喉科学講座
J Iwate Med Assoc 63(5):307-316.2011	Sequence variation at position 961 of the mitochondrial 12SrRNA gene in patients with presbycusis	Shimamoto K Ohtsuka H Nakayashiki N	耳鼻咽喉科学講座
Skull Base 21:153-158.2011	Concomitant chemo-radiotherapy as a standard treatment for squamous cell carcinoma of the temporal bone	Shiga K Ogawa T Maki A Amano M Kobayashi T	耳鼻咽喉科学講座
Tohoku J Exp Med 223:17-25.2011	Surgical treatment is recommended for advanced oral squamous cell carcinoma	Ogawa T Matsuura K Shiga K Tateda M Katagiri K Kato K Saijo S Kobayashi T	耳鼻咽喉科学講座
Tohoku J Exp Med 225:5-12.2011	Distinct Features of Second Primary Malignancies in Head and Neck Cancer Patients in Japan	Shiga K Tateda M Katagiri K Nakanome A Ogawa T Asada Y Kato K Kobayashi T	耳鼻咽喉科学講座
Int Journal of Otolaryngology Volume 2011(2011), Article	A Human Head and Neck Squamous Cell Carcinoma Cell Line with Acquired cis-Diamminedichloroplatinum-Resistance Shows Remarkable Upregulation of BRCA1 and Hypersensitivity to Taxane	Saiki Y Ogawa T Shiga K Sunamura M Kobayashi T Horii A	耳鼻咽喉科学講座
Audiology Japan.54(2):153-161(2011)	環境音によるデジタル補聴器適合評価に関する検討	亀井昌代 佐藤宏昭 米本 清 小田島葉子 村井和夫	耳鼻咽喉科学講座
Otol Jpn.21(2):157-160(2011)	鼓室内注入による内耳へのステロイド移行に関する基礎研究	佐藤宏昭	耳鼻咽喉科学講座
II-1.細菌・原虫感染症 特集 耳鼻咽喉科感染症の完全マスター.耳鼻咽喉科・頭頸部外科.83(5)増刊号:91-95(2011)	モラクセラカタラーシス	福田宏治 佐藤宏昭	耳鼻咽喉科学講座
頭頸部外科.21:79-83(2011)	乳突削除-顔面神経高位切断法を用いた拡大耳下腺全摘術の検討	志賀清人 小川武則 加藤健吾 天野雅紀 牧 敦子 鈴木貴博 佐藤宏樹 川瀬哲明 小林俊光	耳鼻咽喉科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
喉頭.23(1):22-25(2011)	当科における喉頭全摘術後の合併症の検討	志賀清人 小川武則 加藤健吾	耳鼻咽喉科学講座
小児耳.32(3):364-371(2011)	小児のムンプス難聴の臨床的検討	水川知子 水川敦裕 松岡るみ子 佐藤宏昭 小林有美子 村井盛子 宍戸 潔 草野英昭	耳鼻咽喉科学講座
耳鼻咽喉科・頭頸部外科.82(9):585-590(2010)	小脳梗塞による急性感音難聴2例に対するステロイド治療	福田宏治 佐藤尚徳 渡邊聡哉 久保直彦 小原智子 野崎有一 佐藤宏昭	耳鼻咽喉科学講座
Invest Ophthalmol Vis Sci. .52(10):7610-7617(2011)	Enhancement of ON-bipolar cell responses of cone electroretinograms in rabbits with the Pro347Leu rhodopsin mutation	Nishimura T Machida S Kondo M Terasaki H Yokoyama D	眼 科
J Ophthalmol.2011. pii: 564131. Epub 2010 Sep 30.	Comparison of photopic negative response of full-field and focal electroretinograms in detecting	Machida S Tamada K Oikawa T Gotoh Y Nishimura T Kaneko M Kurosaka D	眼 科
PloS One. 6(5):e19911. Epub.(2011)	Identification of autoantibodies against TRPM1 in patients with paraneoplastic retinopathy associated with ON bipolar cell dysfunction	Kondo M, Sanuki R, Ueno S, Nishizawa Y, Hashimoto N, Ohguro H, Yamamoto S, Machida S, Terasaki H, Adamus G and	眼 科
IOL&RS. 25(1):85-89(2011)	水晶体乳化吸引術における創口およびサイドポートからの灌流液の漏れの影響	鎌田有紀 木澤純也 黒坂大次郎	眼 科
岩手医誌. 63(4):229-237(2011)	ステロイド誘発鶏胚白内障モデルでのsemicarbazide-sensitive monoamine oxidase 阻害剤の効果	石川陽平 橋爪公平 西郡秀夫 真島行彦 黒坂大次郎	眼 科
眼科. 53(5):711-717(2011)	穿孔性眼外傷の翌日に発症した中心性漿液性脈絡網膜症の1例	浦上千佳子 藤原貴光 西田泰典 鎌田有紀 小林貴樹 黒坂大次郎	眼 科

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
J Invest Dermatol. 131;1710-1719, (2011)	Nucleus accumbens-associated 1 contributes to cortactin deacetylation and augments the migration of melanoma cells	Tsunoda K Oikawa H Tada H Tatemachi Y Muraoka S Miura S Shibazaki M Maeda F Takahashi Akasaka T	皮膚科学講座
Case Rep Dermatol. 3;170-174,( 2011)	A case of angioleiomyoma with epithelioid granuloma	Onishi M Takahashi K Watabe D Onodera H Akasaka T	皮膚科学講座
J Dermatol. 38(9), 939-941,( 2011)	A case of malignant melanoma associated with a sarcoid reaction	Tsunoda K Akasaka T	皮膚科学講座
Int J Oncol.39(3):665-72(2011)	Downregulation of microRNA-211 is involved in expression of preferentially expressed antigen of melanoma in melanoma cells	Sakurai E Maesawa C shibazaki M Yasuhira s Oikawa H Sato M Tsunoda K Ishikawa Y Watanabe a takahashi k Akasaka T Masuda T	皮膚科学講座
臨床皮膚科65(10)	イミキモド外用が奏功した放射線角化症の1例	森 志朋 石川雄一 赤坂俊英	皮膚科学講座
臨床皮膚科65(1):	子宮頸癌の多発性皮膚転移の1例	森 志朋 赤坂俊英 本田達也 竹内 聡	皮膚科学講座
岩手医学雑誌 63(1):11-21	心理ストレスと皮膚生理機能の関係	福田誠也 馬場俊右 赤坂俊英	皮膚科学講座
皮膚病診療.33(5)	クルミによるoral allergy syndrome	花田美穂 藤野裕美 赤坂俊英	皮膚科学講座
臨床皮膚科 65(9):716-720, 2011	移動式陰圧維持管理装置を用いた植皮術	小松俊郎 富地信江 村岡聡介 瀬川春奈 赤坂季代美 大西正純 前田文彦 高橋和宏 赤坂俊英	皮膚科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
皮膚科の臨床.53(10)	皮角を呈した Trichilemmal carcinoma in situの1例	村岡聡介 石川雄一 中山育徳 森 志朋 赤坂俊英	皮膚科学講座
臨床皮膚科 65(1)	インドメタシン外用が奏功した好酸球性膿疱性毛包炎の1例	梁川志保 前田文彦 赤坂俊英 前田正彦	皮膚科学講座
臨床皮膚科 65(6)	皮膚原発性MALリンパ腫の1例	岸 隆行 時田智子 森 康記 佐藤 勉 佐々木 豪	皮膚科学講座
臨床皮膚科65(10)	蜂刺によるアナフィラキシーショックから鎖骨下動脈狭窄症が発見された1例.	岸 隆行 時田智子 森 康記 中村明浩 安田邦春	皮膚科学講座
皮膚科の臨床. 53(5):735-737.2011	爪甲変形を伴った線状苔癬の1例	瀬川春奈 高橋和宏 赤坂俊英	皮膚科学講座
Survival benefit for selected patients with lung metastasis and serum sodium level.JJCO.41(8):1023-30(2011)	Combined immunotherapy with low-dose IL-2 plus IFN- $\alpha$ metastatic renal cell carcinoma	Akaza H Tsukamoto T Fujioka T Tomita Y Kitamura T Ozono S Miki T. Naito S Zembutsu H and Nakamura Y	泌尿器科学講座
JJCO.40(7):684-689(2011)	Successful outcomes using combination therapy of interleukin -2 and interferon- $\alpha$ for renal cell carcinoma patients with lung metastasis	Akaza H Kawai K Tsukamoto T Fujioka T Tomita Y Kitamura T Ozono S Miki T Naito S Zembutsu H and Nakamura Y	泌尿器科学講座
International Journal of Biomaterials; vol.2011 :Article ID375390(9pages)May.(2011)	Review Article The Blood Compatibilities of Blood Purification Membranes and Other Materials Developed in Japan	Abe T Kato K Fujioka T and Akizawa T	泌尿器科学講座
J Epidemiol.21:491-499(2011)	Seropositivity for anti-HCV core antigen is independently associated with increased all-cause, cardiovascular, and liver disease-related mortality in hemodialysis patients	Ohsawa M Kato K Tanno K Itai K Fujishima Y Okayama A Kawamura K Akiba T Sakata K and Fujioka T	泌尿器科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Cancer Sci.102(1):240-252(2011)	Association of a novel long non-coding RNA in 8q24 with prostate cancer susceptibility	Chung S Nakagawa H Uemura M Piau L Ashikawa K Hosono N Takata R Akamatsu S Kawaguchi T Morizono T Tsunoda T Daigo Y Matsuda K Kamatani N Nakamura Y and Kubo M	泌尿器科学講座
J Urol.185:2353-2358(2011)	Brain-Specific Angiogenesis Inhibitor 1 is a Putative Factor for Inhibition of Neovascular Formation in Renal Cell Carcinoma	Izutsu T Konda R Sugimura J Iwasaki K and Fujioka T	泌尿器科学講座
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 1 .2:47-56(2011)	Predicting response of bladder cancers to gemcitabine and carboplatin neoadjuvant chemotherapy through genome-wide gene expression profile	Kato Y Zembutsu H Takata R Mita F Tsunoda T Obara W Fujioka T and Nakamura Y	泌尿器科学講座
Blood Purif.32:43-47(2011)	Serum Selenium Levels in Hemodialysis Patients Are Significantly Lower than Those in Healthy Controls	Fujishima Y Ohsawa M Itai K Kato K Tanno K Tanvir Chowdhury Turin, Onoda T Endo S Okayama A and Fujioka T	泌尿器科学講座
Nephrol Dial Transplant.26:3331-3338(2011) 10)	Serum selenium levels are inversely associated with death risk among hemodialysis patients.	Fujishima Y Ohsawa M Itai K Kato K Tanno K Tanvir Chowdhury Turin Onoda T Endo S Okayama A and Fujioka T	泌尿器科学講座
日本循環器病予防学会誌. 46(1):13-29(2011)	透析患者の血清中ヒ素濃度が心筋梗塞ならびに虚血性脳卒中罹患リスクに与える影響	大澤正樹 板井一好 丹野高三 藤島洋介 加藤香廉 岡山 明 遠藤重厚 小野田敏行 坂田清美 中村元行 栗林 徹 藤岡知昭	泌尿器科学講座
岩手医誌. 63(3):159-168(2011)	腎癌におけるconnexin 26,32 43の発現と臨床的意義	島谷蘭子	泌尿器科学講座



高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
BMC Psychiatry. 11:38(2011)	The impact of inpatient suicide on psychiatric nurses and their need for support.	Takahashi, C Chida, F Nakamura, H Akasaka, H Yagi, J Koeda, A Takusari, E Otsuka, K Sakai, A	神経精神科学講座
Neuropsychiatric Disease and Treatment. 7: 655-662(2011)	Predisposition for borderline personality disorder with comorbid major depression is associated with that for polycystic ovary syndrome in female Japanese population.	Kawamura, S Maesawa, C Nakamura, K Nakayama, K Morita, M Hiruma, Y Yoshida, T Sakai, A Masuda, T	神経精神科学講座
西欧古代の文献に関する一考察. 精神神経学雑誌. 112(12) :1253-1260(2011)	双極性(感情)障害の精神医学史	酒井明夫	神経精神科学講座
こころの科学. 159 :2-9(2011)	東日本大震災に対するこころのケア活動・岩手の最前線から:岩手医科大学における初動期から初期の支援	大塚耕太郎	神経精神科学講座
こころの科学. 160 :2-15(2011)	東日本大震災に対するこころのケア活動・岩手の最前線から(2):中長期的なこころのケア対策	大塚耕太郎 酒井明夫	神経精神科学講座
日本社会精神医学会雑誌. 20(3) :246-247(2011)	若年受刑者の対人関係様式に関する検討:愛着スタイルと生育歴との関連について	八木淳子 大塚耕太郎 酒井明夫 中村 光	神経精神科学講座
精神科治療学. 26(10) :1247-1254(2011)	自殺未遂者ケア	大塚耕太郎 酒井明夫 山家健仁 遠藤仁 岩戸清香 肥田篤彦 立木智大 佐賀雄大 小泉範高 富沢秀光 佐藤瑠美子 吉岡靖史	神経精神科学講座
Emergency Care. 24(11) :1077-1082(2011)	自殺企図患者へのアプローチ:家族・遺族へのかかわり編	大塚耕太郎 酒井明夫 小泉範高 肥田篤彦 赤平美津子 吉田美穂子	神経精神科学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
Depression Frontier. 9(2): 45-49(2011)	医療支援中のメンタルヘルス 医療支援復帰後のうつ病	大塚耕太郎 酒井明夫 佐藤瑠美子 富沢秀光 佐賀雄大 藤原恵真 久保千尋 吉田美穂子 中村光 赤平美津子	神経精神科学講座
産業医学ジャーナル. 34(4): 34-37(2011)	亜硝酸ナトリウムの間欠投与にて救命した重症硫化水素中毒の1例	藤野靖久 井上義博 小野寺誠 菊地 哲 小豆嶋立頼 肥田篤彦 小泉龍高 遠藤重厚 三條克巳 工藤 薫 遠藤 仁 藤田友嗣	神経精神科学講座
Gastroenterological Endoscopy. 53(1):860(2011)	統合失調症に合併した胃潰瘍出血症例の検討	井上義博 藤野靖久 小野寺誠 菊地 哲 小豆嶋立頼 小鹿雅博 遠藤重厚 工藤 薫 三條克巳 酒井明夫	神経精神科学講座
Curr Cardiovasc Imaging Rep4:437-446(2011)	Subtraction coronary CT angiography for the evaluation of severely calcified lesions using a 320-detector row scanner	Yoshioka, K Tanaka, R	放射線医学講座
International Journal of PIXE. 21: 30-36(2011)	Increasing antitumor effects of chemoradiotherapy by drug efflux inhibition wit encapsulated RLIP-76	Harada, S Ehara, S Ishii, K Tanaka, A Satoh, T Matsuyama, S Yamazaki, H Kamiya, T Sakai, T Arakawa, K Saitoh, M Oikawa, S Sera, K	放射線医学講座
Cardiovasc Intervent Radiol. 34:1222-1229(2011)	Subclavian vein versus arm vein for totally implantable central venous port for patients with head and neck Cancer: a retrospective comparative analysis.	Akahane, A Sone, M Ehara, S Katoh, K Tanaka, R Nakasato, T	放射線医学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
J Cardiovasc Comput Tomogr. 5: 370-381(2011)	Diagnostic performance of combined noninvasive coronary angiography and myocardial perfusion imaging using 32 row detector computed tomography: design and implementation of the CORE320 multicenter, multinational diagnostic study	Vavere, AL Simon, GG George, RT Rochitte, CE Arai, AE Miller, J MDi Carli, M Zadeh, AA Dewey, M Niinuma, H Laham, R Rybicki, FJ Schuijf, JD Paul, N Hoe, J Kuribayashi, S Sakuma, H Nomura, C Yaw, TS Kofoed, KF Yoshioka, K Clouse, ME Brinker, J Cox, C Lima, JA	放射線医学講座
Int J radiat oncol biol phys. 83:172-177(2011)	Long-Term Results of Radiochemotherapy for Solitary Lymph Node Metastasis After Curative Resection of Esophageal Cancer	Jingu, K Ariga, H Nemoto, K Narazaki, K Umezawa, R Takeda, K Koto, M Sugawara, T Kubozono, M Miyata, G., Onodera, K Yamada, S	放射線医学講座
Radiat Oncol. 6:150(2011)	Impact of pathological tumor stage for salvage radiotherapy after radical prostatectomy in patients with prostate-specific antigen <math>< 1.0 \text{ ng/ml}</math>	Umezawa, R Ariga, H Ogawa, Y Jingu, K Matsushita, H Takeda, K Fujimoto, K Sakayauchi, T Sugawara, T Kubozono, M Narazaki, K Shimizu, E Takai, Y Yamada, S	放射線医学講座
Conformal Radiotherapy for Localized Prostate Cancer.	Clinical Predictors of Late Gastrointestinal Toxicity after Three dimensional Conformal Radiotherapy for Localized Prostate Cancer.	Takeda, K Ariga, H Jingu, K Kubozono, M Sugawara, T Umezawa, R Shimizu, E Dobashi, S Kadoya, N Fujita, Y Nemoto, K Yamada, S	放射線医学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
European Surgical Research. 47:32-38(2011)	Preliminary Study on Glucose Control with an Artificial Pancreas in Postoperative Sepsis Patients	Takahashi, G Sato, N Matsumoto, N Shozushima, T Hoshikawa, K Akitomi, S Kikkawa, T Onodera, C Kojika, M Inoue, Y Suzuki, K Wakabayashi, G Endo, S	麻酔学講座
European Surgical Research.47:135-140(2011)	Changes in Serum S100A12 and sRAGE Associated with Improvement of the PaO <sub>2</sub> /FiO <sub>2</sub> Ratio following PMX-DHP Therapy for Postoperative Septic Shock	Takahashi, G Hoshikawa, K Matsumoto, N Shozushima, T Onoda, C Kan, S Akitomi, S Kikkawa, T Tomisawa, Y Kojika, M Sato, N Inoue, Y Suzuki, K Wakabayashi, G Endo, S Ikeda-Dantsuji Y, Hanaki H, Sasaki F. Tomono K.	麻酔学講座
J Infect Chemotherapy 17:45-51 (2011)	Linezolid-resistant Staphylococcus aureus isolated from 2006 through 2008 at six hospitals in Japan.	Suwabe A, Nagura O, Yanagihara K, Mikamo H, Fukuchi K, Kaku M, Kohno S, Yanagisawa C, Nakae T, Yoshida K, Niki Y	臨床検査医化学講座
Diagn Microbiol Infect Dis 70:395-8 (2011)	Prosthetic valve endocarditis caused by Bartonella quintana in a patient during immunosuppressive therapies for collagen vascular diseases	Yamada Y Ohikusu K Yanagihara M Tsuneoka H Ezaki T Tsuboi J Okabayashi H Suwabe A	臨床検査医化学講座
化学療法学会雑誌 59:285-292 (2011)	注射用抗菌薬の包括的処方管理システムの有用性	小野寺直人 櫻井滋 高橋美枝子 山田友紀 諏訪部章 佐藤謙 蛸崎淳 工藤賢三 高橋勝雄	臨床検査医化学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
 (報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
日本化学療法学会雑誌 59:285-292 (2011)	注射用抗菌薬の包括的処方管理システムの有用性—同様のシステムを導入した附属循環器センターにおける5年間の結果を踏まえて— 日本化学療法学会雑誌 59:285-292(2011)	小野寺直人 櫻井滋 高橋美枝子 山田由紀 諏訪部章 佐藤譲 嶋崎淳 工藤賢三 高橋勝雄	臨床検査医化学講座
医学検査 20:19-26(2011)	抗ENA抗体測定試薬「MESACUP-3テスト」の基礎的検討 医学検査 20:19-26(2011)	小原文裕 小田島洋子 豊巻和司 谷藤えみ子 堀切順子 諏訪部章	臨床検査医化学講座
診断病理 28:167-170(2011)	胸椎圧迫骨折で発見された小児結核の1例	河合萌子 佐藤孝 阿保亜紀子 松下翔子 遠藤幹也 山田友紀 増田友之	臨床検査医化学講座
臨床病理 59:1144-1153(2011)	東日本大震災対策委員会における活動報告	坂本秀生 後藤健治 長沢光章 大花昇 奥田優子 山田修 山崎家春 岡尚人 小林隆 合田隆 残松直樹 箕輪正和 諏訪部章 谷直人	臨床検査医化学講座
日本臨床化学会東北支部会誌 20:27- 30(2011)	汎用自動分析装置による亜鉛測定試薬の検討	千葉麻美 斎藤篤 高橋敬太 福岡幸子 伊藤恵津子 行森良一 中居恵子 諏訪部章	臨床検査医化学講座
病原性微生物検出情報 32:21-22 (2011)	感染創からClostridium tetaniが検出された1例	成田和也 山田友紀 工藤希代子 畠山裕司 石藤克典 黒田牧子 伊東みち子 昆浩 高橋学 遠藤重厚 諏訪部章 山本明彦 高橋元秀	臨床検査医化学講座
NMCC共同利用研究成果報文集. 17: 132-138(2010)	半固形栄養のゲル化剤の違いによる消化管からの微量元素の吸収に 関する検討	三浦吉範, 世良耕一郎, 諏訪部章	臨床検査医化学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
日本検査血液学会雑誌 12:104-109 (2011)	血液学的検査における極異常値への対応 —診療レベルの向上に 寄与するための工夫—1. 血球数(CBC)検査	柳本実 内田妙子 阿保徹 諏訪部章	臨床検査医化学講座
The Japanese Journal of Antibiotics 64: 53-95(2011)	Meropenemを含む各種注射用抗菌薬に対する2009年臨床分離株の 感受性サーベイランス	山口恵三 諏訪部章	臨床検査医化学講座
Pulm Pharmacol Ther.:24(5):549-54 (2011)	Reevaluation of the efficacy and safety of the neutrophil elastase inhibitor, sivelestat, for the treatment of acute lung injury associated with systemic inflammatory response syndrome; a phase IV study	Aikawa, N Ishizaka, A Hirasawa, H Shimazaki, S Yamamoto, Y Sugimoto, H Shinozaki, M Tanaka, N Endo, S Ikeda, T Kawasaki, Y	救急医学講座
Euro Surg Res. 47:32-38(2011)	Preliminary study on glucose control with an artificial pancreas in postoperative sepsis patients	Takahashi, G Sato, N Matsumoto, N Syozushima, T Hoshikawa, K Akitomi, S Kikkawa, T Onodera, C Kojika, M Inoue, Y Suzuki, K Wakabayashi, G Endo, S	救急医学講座
Case Reports in Critical Care. (2011)	Multiple transverse colonic perforations associated with slow-release non-steroidal anti-inflammatory drugs and corticosteroids: a case report	Shioya, N Shibata, S Kojika, M Endo, S	救急医学講座
Euro Surg Res. 47:135-140(2011)	Changes in serum S100A12 and sRAGE associated with mprovement of the PaO2/Fio2 ratio following PMX-DHP therapy for postoperative septic shock.	Takahashi, G Hoshikawa, K Matsumoto, N Shozushima, T Onodera, C Kan, S., Akitomi, S., Kikkawa, T., Kojika, M., Tomisawa, Y., Sato, N., Inoue, Y.,	救急医学講座
J Infect Chem. 17(6):764-769(2011)	Usefulness of presepsin (sCD14-ST) measurements as a marker for the diagnosis and severity of sepsis that satisfied diagnosutic crieria of systemic inflammatory response syndrome	Shozushima, T Takahashi, G Matsumoto, N Kojika, M. Okamura, Y Endo, S	救急医学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
日本救命医療学会雑誌. 25:43-48(2011)	敗血症性ショック患者に対する抗tumor necrosis factorモノクローナル抗体(TNFMab)投与が効果的であった一症例	小野寺ちあき 小鹿雅博 高橋学 松本尚也 菅重典 佐藤正幸 佐藤諒 秋富慎司 吉川智宏 星川浩一 鈴木泰 井上義博 葛西健 遠藤重厚	救急医学講座
日本腹部救急医学会雑誌. 31(7):1063-1066(2011)	鋭的肝外傷後の動脈シヤントを伴う仮性左肝動脈瘤の1例.	梅邑晃 吉川智宏 小野寺ちあき 西成悠 秋富慎司 小鹿雅博 井上義博 遠藤重厚	救急医学講座
日本救急医学会雑誌. 22(12):885-889(2011)	循環管理にランジオロールが有効であった重症破傷風と非クロストリウム性ガス壊疽症の1合併例.	高橋学 塩谷信喜 松本尚也 菅重典 石部頼子 山田裕彦 遠藤重厚	救急医学講座
ICUとCCU. 35(11):1043-1047(2011)	ナファモスタットメシル酸塩製剤先発品と後発品におけるイン・ビトロでの抗凝固作用の比較	柴田繁啓 稲田捷也 岸香代 高橋学 松本尚也 鈴木泰 遠藤重厚	救急医学講座
産業医学ジャーナル. 34(4):34-37(2011)	亜硝酸ナトリウムの間欠投与にて救命した重症硫化水素中毒の1例	藤野靖久 井上義博 小野寺誠 菊池哲 小豆嶋立頼 肥田篤彦 小泉範高 遠藤重厚 三條克巳 工藤薫 遠藤仁 藤田友嗣	救急医学講座
岩手医学雑誌. 63(1):39-44(2011)	プロカルシトニンは抗tumor necrosis factorモノクローナル抗体投与時の重傷度を良く反映する	照井克俊 高橋学 小鹿雅博 松本尚也 石部頼子 鈴木泰 葛西健 遠藤重厚	救急医学講座
岩手医学雑誌. 63(1):45-49(2011)	α-トコフェロール値、interleukin 8値および好中球エラスターゼ値を継続して測定した敗血症性acute respiratory distress syndromeの1例	照井克俊 高橋智弘 肥田頼彦 上田寛修 松本尚也 石部頼子 小豆嶋立頼 青木英彦 遠藤重厚	救急医学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
日本集中治療医学会雑誌. 18(2):176-177(2011)	ジスチグミン臭化物によるコリン作動性クリーゼ	小野寺誠	救急医学講座
岩手医学雑誌. 63(1):33-37(2011)	造血因子を継続して測定したdisseminated intravascular coagulationを合併した敗血症の1例	眞壁秀幸 高橋学 松本尚也 菅重典 石部頼子 塩谷信喜 山田裕彦	救急医学講座
エンドトキシン血症救命治療研究会誌. 15(1):220-226(2011)	敗血症性ショック症例に対するpolymyxin-B immobilized fiber-direct hemoperfusion施行時のII型phospholipase A2値と肺酸素化能の検討	眞壁秀幸 鈴木泰 小鹿雅博 高橋学 松本尚也 石部頼子 及川隆博 高橋進 小野寺誠 藤野靖久 柴田繁啓 照井克俊 山田裕彦 吉田雄樹 青木英彦 井上義博 遠藤重厚	救急医学講座
日本消化器病外科学会雑誌. 44(3):295-303(2011)	非腸管壊死性の門脈ガス血症の2例	吉川智宏 藤井大和 小鹿雅博 星川浩一 青木毅一 井上義博	救急医学講座
Coagulation&Inflammation. 5(1):14-18(2011)	救命率向上のDIC治療ストラテジー	鈴木泰 秋富慎司 遠藤重厚	救急医学講座
Shock. 26(2):58-66(2011)	Surviving Sepsis Campaign Guideline(SSCG)2008により敗血症の救命率は向上したか?	遠藤重厚 鈴木泰 小鹿雅博 高橋学 松本尚也 小豆嶋立頼 塩谷信喜 秋富慎司 山田裕彦 井上義博	救急医学講座



高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
(報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
エンドトキシン血症救命治療研究会誌. 15(1):16-19(2011)	岩手県高度救命救急センターにおける敗血症治療成績の変遷	遠藤重厚 井上義博 青木英彦 吉田雄樹 山田裕彦 鈴木泰 藤野靖久 照井克俊 小野寺誠 高橋進 柴田繁啓 眞壁秀幸 大間々真一 及川博隆 塩谷信喜 小鹿雅博 星川浩一 松浦秀樹 吉川智宏 秋富慎司 石部頼子 高橋学 松本尚也 高橋智弘 小島剛史 菊池哲 小豆嶋立頼 小野寺ちあき 菅重典 渡辺陽太郎 佐藤寿穂 増田卓之 佐藤正幸 佐藤諒 三條克巳 工藤薫 萩野義信 上田寛修 肥田頼彦 加藤可奈子 梅邑晃 西成悠 片桐弘勝 八重樫泰法 佐藤信博	救急医学講座
J Neurooncol 2011; 103(3):619-27.	Prediction of malignancy grading using computed tomography perfusion imaging in nonenhancing supratentorial gliomas	Beppu T Sasaki M Kudo K Kurose A Takeda M Kashimura H Ogawa A Ogasawara K	高気圧環境医学講座
J Neurol Neurosurg Psychiatry 2011; 82(8):869-75	H-magnetic resonance spectroscopy indicates damage to cerebral white matter in the subacute phase after CO poisoning.	Beppu T Nishimoto H Fujiwara S Kudo K Sanjo K Narumi S Oikawa H Onodera M Ogasawara K Sasaki M	高気圧環境医学講座
日本高気圧環境・潜水医学会雑誌45: 208, 2011	拡散テンソル画像を用いたCO中毒後大脳白質障害の評価	別府高明 西本英明 藤原俊朗 小笠原邦昭 鎌田 桂	高気圧環境医学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告書  
 (報告対象期間 H23年4月～H24年3月)

2.論文発表等の実績

掲載雑誌名 巻、項、発行年	論文題名	発表者氏名 (代表者)	所属部門
日本高気圧環境医学会雑誌 46, 1-7, 2011	悪性グリオーマに対する高気圧酸素療法(HBO)の放射線増感作用 及びその他の悪性腫瘍への応用	合志 清隆 別府 高明 田中 克之 小川 和彦 井上 治	高気圧環境医学講座
日本化学療法学会雑誌59:285-292	注射用抗菌薬の包括的処方管理システムの有用性 同様のシステム を導入した附属循環器医療センターにおける5年間の結果をふまえて	小野寺直人 櫻井 滋 高橋美枝子 山田 友紀 諏訪部 章 佐藤 譲 蠣崎 淳 工藤 謙三 高橋 勝雄	睡眠医療学科
香川産婦人科雑誌13:43-48	卵巣成熟嚢胞性奇形腫に関連した自己免疫性辺縁系脳炎と考えら れた一例	山下 瑞穂 森 英俊 大野 義雄 美藤 文貴 河野 洋二 岸本 伸人 寺澤 由佳 高橋 幸利	睡眠医療学科
香川県内科医会誌47:66-70	インドネシア(バリ島)で感染したチクングニア熱の1例	岸本 伸人 福長 健作 美藤 文貴 河野 洋二	睡眠医療学科
高松市民病院雑誌26:7-11	急性腎不全・横紋筋融解症・肝機能障害を伴ったレジオネラ肺炎の 一例	藤原新太郎 龍田 美和 鎌野 周平 黒河内和貴 美藤 文貴 細川洋一郎 山岡 育代 廣瀬 麻衣	睡眠医療学科

件数 288件

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 酒井 明夫
管理担当者氏名	病院事務部長 柳沢 茂人 及び 各所属課長

		保管場所	保管方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 診療記録管理室 各診療科 薬剤部 看護部	診療記録等の管理は、1患者1番号制(ID番号)により管理している。入院診療録は、1入院1診療録とし、デジタル・デジタル方式による収納としている。外来診療録は1患者各診療科別診療録とし、各診療科による収納としている。病院日誌等の各種日誌に関しては、診療科ごとに1年分をまとめて保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事職員課	1職員1番号(ID番号)により管理している。 1職員1部の人事記録簿を人事職員課にて収納管理している。
	高度の医療の提供の実績	病院事務部 医務課	各技術ごとに病院事務部医務課にて診療報酬明細書をファイリングして管理している。
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院事務部 医務課	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	高度の医療の研修の実績	〃	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	閲覧実績	〃	閲覧ごとに詳細情報を電子媒体化し病院事務部医務課にて管理している。
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部 医務課	紹介日、紹介先診療科ごとに管理システムに人力し病院事務部医務課内医療連携室にて管理している。
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部 医務課 薬剤部	医療情報システムからデータを抽出し、紙媒体および電子媒体にて管理している。
	に掲げる規則第一條の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部

	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	〃	委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎にまとめ紙媒体で医療安全管理部にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	〃	全職員対象研修については電子媒体管理システムに出欠状況を入力し医療安全管理部にて管理している。その他研修については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	〃	医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	医療に係る安全管理のための指針に規定し電子媒体および紙媒体で医療安全管理部にて管理している。
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び 医療福祉相談室	各科から寄せられた相談の内容を「相談記録票」にて医療福祉相談室に報告を行い、医療福祉相談室において「受付簿」に記載して報告・記録を綴り、保管している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	保管方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室 法律の改正等必要に応じて適宜指針を改定し、電子媒体および紙媒体で医療安全管理部に内容管理している。改廃内容については岩手医科大学規定集編纂総括管理者に届け出ている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室 委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎に策室でまとめ紙媒体で感染対策室にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実態状況	院内感染対策室 全職員対象研修については電子媒体管理システムに出欠状況を入力し感染対策室にて管理している。その他講習会については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で感染対策室にて管理している。
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室 院内感染対策委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて感染対策室にて管理している。
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課 医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理責任者と医療安全管理部で作成および修正を行い院内各部署へ配布しており、電子媒体にて医療安全管理部にて管理している。
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課 医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室 医療機器材料部会と医療安全管理部が合同で開催する講習会、または部署ごとに実施する研修記録全てを管理している。
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室 院内中央管理機器については臨床工学室を窓口として実施管理。部署配置機器は各部署ごとに実施記録管理している。
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 臨床工学室が情報収集、文章作成を行い、医療安全管理部より各部署へ配布管理となっている。	

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧管理者氏名	柳 沢 茂 人
閲覧担当者氏名	病院事務部医務課長 佐 藤 嘉 英 病院事務部医事課長 塚 澤 仁 敏 人事職員課長 吉 田 秀 樹
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室、カンファレンスルーム、会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延 0 件	
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	57.8%	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数	16,654人	
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,258人	
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	2,207人	
	D:初診の患者の数	44,524人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容: ①当該病院における安全管理に関する基本的考え方</p> <p>②安全管理委員会(委員会を設ける場合について対象とする。)その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</p> <p>③医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>④当該病院等における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</p> <p>⑤医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>⑥医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む)</p> <p>⑦患者からの相談への対応に関する方針</p> <p>⑧その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容: 当該病院等における安全管理の体制確保及び推進のために設ける</p> <p>①重大な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者への報告</p> <p>②重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</p> <p>③安全管理委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直しを行う</p> <p>④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の主な内容: ⑥医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について当該研修を実施する病院等の従業者への周知徹底を行い、個々の従業者の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上等を図る</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容: ①病院において発生した事故の安全管理委員会への報告。</p> <p>②あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析し、病院における問題点を把握して病院の組織としての改善策の企画立案及び実施状況を評価し病院において情報を共有する。</p> <p>③重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する。なお、事故の報告は診療録、看護記録等に基づき作成する。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有(3名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無
<p>・所属職員: 専任(2)名 兼任(10)名</p> <p>・活動の主な内容: ①安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存。その他安全管理委員会の庶務に関する活動。</p> <p>②事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び指導を行う。</p> <p>③患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び指導を行う。</p> <p>④事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導を行う。</p> <p>⑤医療安全に係る連絡調整、及びその他医療安全対策の推進に関する活動。</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容:①院内感染対策に関する基本的考え方</p> <p>②院内感染対策のための委員会(委員会を設ける場合を対象とする。)その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</p> <p>③院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>④感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <p>⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針</p> <p>⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針</p> <p>⑦その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容:当該病院等における院内感染対策の推進のために設ける</p> <p>①重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者への報告</p> <p>②院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</p> <p>③院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う</p> <p>④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 9 回
<p>・ 研修の主な内容:◎院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、当該研修を実施する病院等の従事者に周知徹底を行うことで、個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識の向上を図る</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>1.耐性菌検出時、感染症対策室にメールと電話で連絡。また同時に担当医に耐性菌警告書と電話で連絡。</p> <p>2.感染症発生時、病棟師長・担当医から連絡、感染症報告書の提出</p> <p>3.検査部から院内感染症情報(1回/週)の報告</p> <p>4.検査部から感染対策委員会での報告(1回/月)</p> <p>*当院アウトブレイク規程に基づいて対応</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:①院内感染の発生状況を把握するため、病院における感染症の発生動向の情報を共有し、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。</p> <p>②重大な院内感染が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、または発生したことが疑われる場合は地域の専門家等に相談が行われる体制の確保。</p> <p>③「院内感染対策の指針」に即した院内感染対策マニュアルの整備、及び見直し。</p>	



## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容:①医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項</p> <p>②医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項</p> <p>③医薬品による副作用等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容:◎病院等の規模や特徴に応じて以下の事項を含む手順書について安全管理委員会で協議を行い作成または変更を行う</p> <p>①病院等で用いる医薬品の採用・購入に関する事項</p> <p>②医薬品の管理に関する事項(例＝医薬品の保管場所、薬事法(昭和35年法律第145号)などの法令で適切な管理が求められている医薬品(麻薬・向精神薬、覚せい剤原料、毒薬・劇薬、特定生物由来製品等)の管理方法)</p> <p>③患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項(例＝患者情報(薬剤の服用歴、入院時に持参してきた薬剤等)の収集、処方箋の記載方法、調剤方法、処方箋や調剤薬の監査方法)</p> <p>④患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</p> <p>⑤医薬品の安全使用に係る情報の取扱い(収集、提供等)に関する事項</p> <p>⑥他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項</p> <p>◎手順書に基づく業務の実施については、医薬品安全管理責任者に対して、従業者の業務が医薬品業務手順書に基づき行われているか定期的に確認し、確認内容の記録を行う</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>厚生労働省ホームページ、PMDAホームページ、日本医療評価機構ホームページ、製薬会社、日本病院薬剤師会ホームページ、業界新聞等から情報を収集している。</p> <p>また、収集した医薬品情報に関して迅速に適切な措置を講じる体制を構築している。</p> <p>現在、定期的に医療安全推進室からの「医薬品・医療機器等安全性情報」および薬剤部からの「DI ニュース」を通じて情報を周知している。また、必要に応じ医療安全推進室からの医療安全通知および薬剤部からの業務連絡により緊急の通知に対応している。また、必要に応じて安全使用のための講習会にて改善のための方策を周知・実施している。</p>	

## 医療機器に係る安全使用のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実態状況	年 50 回以上
<p>・ 研修の主な内容: ◎新しい医療機器の導入時及び特定機能病院における定期研修は以下の研修を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機器の有効性・安全性に関する事項</li> <li>○医療機器の使用方法に関する事項</li> <li>○医療機器の保守点検に関する事項</li> <li>○医療機器の不具合等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項</li> <li>○医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有)・無)</p> <p>保守点検の主な内容:・臨床工学技士による保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の院内定期点検、および使用年数・作動時間に基づいて消耗部品の交換</li> <li>・メンテナンス契約によるメーカーまたは専門業者による保守点検</li> <li>年1回、機種によっては年2回の外注による動作点検・消耗部品の交換</li> <li>・保守契約付リース機器における専門業者による保守点検</li> <li>年1回のメーカー点検表に基づいた定期点検・消耗部品の交換</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:①医療機器の添付文章、取り扱い説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報の整理及び管理。</p> <p>②医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用のために必要な情報を製造販売業者から一元的に収集し、得られた情報を医療機器に携わる職員に対して適切に提供する。</p> <p>③管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集に努め、病院管理者への報告を行う。</p>	